

登別市教育施設等  
個別施設計画

(案)

登別市教育委員会

令和4年 月

# 目 次

## 第1編 はじめに

第1章 登別市教育施設等個別施設計画について.....	1
1 計画の背景.....	1
2 計画の目的.....	1
3 計画の位置づけ.....	2
4 計画の期間.....	3
5 対象施設.....	3
第2章 教育施設等の目指すべき姿.....	4

## 第2編 長寿命化施設

第1章 長寿命化施設.....	5
1 対象施設.....	5
第2章 施設の実態.....	6
1 施設の運営状況・活用状況等の実態.....	6
2 施設の老朽化状況の実態.....	21
第3章 教育施設長寿命化の基本的な考え方.....	51
1 教育施設長寿命化の基本方針.....	51
2 改修等に係る基本的な考え方.....	52
3 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果.....	54
4 施設整備の内容.....	59
（1）改修等の整備水準.....	59
（2）維持管理の項目・手法等.....	62
第4章 教育施設整備の進め方.....	63
1 改修等の優先順位づけ.....	63
2 優先順位等を考慮した今後の実施計画.....	65

### 第3編 その他教育施設

第1章 その他教育施設の個別計画について.....	68
1 対象施設.....	68
2 施設の状態.....	69
3 施設ごとの方針.....	70

### 第4編 計画の実現に向けて

第1章 今後の計画推進.....	72
1 情報基盤の整備と活用.....	72
2 フォローアップ.....	72
(経過) .....	73

# 第 1 編 はじめに

## 第 1 章 登別市教育施設等個別施設計画について

### 1 計画の背景

我が国における公共施設や道路、橋梁等のインフラは、高度経済成長期に建設されてから 40 年以上経過しており、老朽化に伴い一斉に更新時期を迎えます。

国においては、公共施設やインフラの全体の状況を把握し、今後、長期的な視点をもって施設の更新や統廃合・長寿命化等を計画的に行うことにより財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設の最適な配置を実現する必要があることから、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定しました。さらに、市町村に対しては公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画として、「公共施設等」策定にあたっての指針が示されました。これを受け、登別市においても、公共施設等における総合的かつ計画的な管理を推進するための基本的な方針として、平成 27 年 9 月に「公共施設整備方針」、平成 28 年 3 月に「登別市公共施設等総合管理計画」を策定しました。（以下、それぞれを「整備方針」「総合管理計画」という。）

また、登別市教育委員会においては、令和 2 年 3 月に新耐震基準に適合した教育施設を対象にした「登別市教育施設長寿命化計画」を策定しておりましたが、上位計画である市長部局の「総合管理計画」の見直しに合わせ、その他の教育施設も対象とした「登別市教育施設等個別施設計画」（以下、「本計画」という。）を策定することとしました。

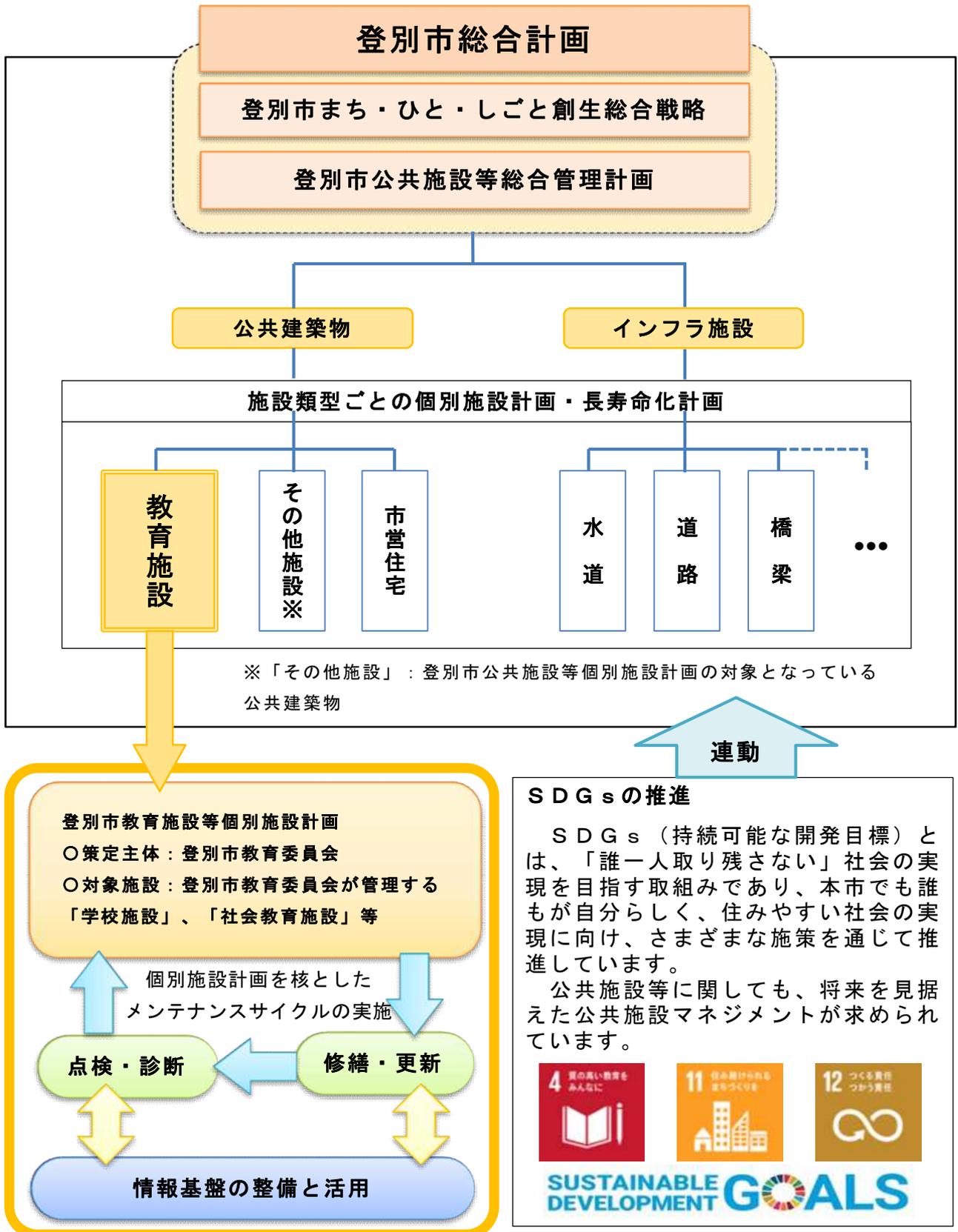
### 2 計画の目的

教育委員会所管の全ての教育施設等を対象に、中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、教育施設に求められる機能を確保することを目的とします。

### 3 計画の位置づけ

本計画は、上位計画及び関連計画と整合を図りながら策定します。

図 1-1-1 本計画の位置づけ



## 4 計画の期間

本計画の期間は、今後 40 年間を見通したうえで、令和 2 年度から令和 11 年度までの 10 年間とします。

なお、本計画は上位計画や関連計画、社会情勢の変化等に応じて、適宜見直しを行います。

## 5 対象施設

本計画の対象施設は、学校施設や社会教育施設、教職員住宅とします。

表 1-1-1 対象施設一覧（注 1）

分類	施設区分	建物名	施設数
学校施設	小学校	幌別小学校、幌別西小学校、登別小学校、 鷺別小学校、富岸小学校、幌別東小学校、 若草小学校、青葉小学校	8
	中学校	幌別中学校、鷺別中学校、登別中学校、 西陵中学校、緑陽中学校	5
	調理場	学校給食センター	1
社会教育施設	文化施設	市民会館	1
	図書館	市立図書館	1
	博物館	郷土資料館、文化伝承館、のぼりべつ文化交流館	3
	スポーツ施設	総合体育館、市民プール、登別市青少年会館 岡志別の森運動公園（管理棟等）	4
	青少年教育施設	ネイチャーセンター（本館、旧棟）※注 2	2
その他	新生町教職員住宅 K55	1	
計			26

※注 1：令和 4 年 3 月 31 日現在の状況。ただし、令和 4 年度より所属替え等がある施設を除く。（旧鷺別公民館、旧富岸青少年会館、旧登別温泉公民館）

※注 2：ネイチャーセンターは本館、旧棟が渡り廊下で接続されているが、本計画ではそれぞれを 1 棟とカウントし、計 2 棟としている。渡り廊下は本館の取扱いとしている。

## 第2章 教育施設等の目指すべき姿

本市における教育施設等の目指すべき姿を表 1-2-1 に示します。

表 1-2-1 教育施設等の目指すべき姿

共通	<p>快適で豊かな施設環境の整備</p> <p>社会情勢や生活様式の変化等を踏まえた施設整備における多様なニーズへの対応を行うため、老朽化した施設に対して修繕を行うだけでなく、トイレの洋式化やバリアフリー化を進めるとともに、国が推進する 2050 年カーボンニュートラルの実現や地域脱炭素の促進に向け、省エネルギー化及び省 CO2 型の設備等の導入や再生可能エネルギーの導入を進めていく必要があります。</p> <p>また、時代に対応した教育環境や活動環境の充実に向け、ネットワーク環境や ICT 機器の整備についても視野に入れる必要があります。</p>
学校施設	<p>学校施設のうち小学校及び中学校は、児童生徒が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、地震などの災害発生時には、地域住民の避難所となる役割を果たすことから、安全で安心な教育環境を確保することは極めて重要であり、施設が構造上危険な状態にある場合や教育機能の向上など教育条件の改善を図るため建物全体の改築等を行う場合を除き、施設の維持・保全を計画的に進める必要があります。</p> <p>また、調理場である学校給食センターは、児童生徒の健康の保持増進、望ましい食習慣の形成など、健康教育の一環として非常に重要であり、施設の維持・保全等を計画的に進める必要があります。</p>
社会教育施設	<p>社会教育施設は、市民等に日常的に利用される施設であり、市民のライフスタイルによって様々な利用形態（集会、スポーツ、生涯学習等）が存在することから、市民が快適に利用できるように、施設の規模や利用者等に応じた適切な施設環境を整備する必要があります。</p>
その他施設	<p>その他施設は、生活の基盤となる施設であることから、利用者等が快適に、安全で安心して利用できるように、施設環境の整備や維持・保全を計画的に進める必要があります。</p>

## 第2編 長寿命化施設

### 第1章 長寿命化施設

#### 1 対象施設

長寿命化施設は、第1編第1章5の施設のうち、新耐震基準に適合した施設及び耐震化を予定している施設で、かつ、長期的利用を想定している施設を対象とします。

表 2-1-1 対象施設一覧

分類	施設区分	建物名	施設数
学校施設	小学校	幌別小学校、幌別西小学校、登別小学校、鷺別小学校、富岸小学校、幌別東小学校、若草小学校、青葉小学校	8
	中学校	幌別中学校、鷺別中学校、登別中学校、西陵中学校、緑陽中学校	5
社会教育施設	文化施設	市民会館	1
	博物館	郷土資料館、文化伝承館	2
	スポーツ施設	総合体育館、市民プール	2
	青少年教育施設	ネイチャーセンター（本館、渡り廊下）	1
計			19

## 第2章 施設の実態

### 1 施設の運営状況・活用状況等の実態

#### (1) 児童生徒数・学級数の推移（学校施設）

##### ア 児童生徒数及び学級数の状況

令和3年4月1日現在の児童生徒数及び学級数の状況を表2-2-1に示します。

小学校は、児童数が1,892人で、学級数が98学級となっています。学校別にみると、富岸小学校が365人で最も多く、若草小学校の295人、幌別西小学校の287人と続きます。学級数については、平均で約12学級となっており、富岸小学校の16学級が最も多く、幌別西小学校の15学級、幌別小学校、若草小学校、青葉小学校の13学級と続きます。

中学校は、生徒数が1,032人で、学級数が45学級となっています。学校別にみると、緑陽中学校が389人と最も多く、鷺別中学校の275人、幌別中学校の144人と続きます。学級数については、平均で9学級となっており、緑陽中学校の14学級、続いて鷺別中学校の11学級、西陵中学校の8学級となっています。

表2-2-1 学校施設の児童生徒数及び学級数の状況（令和3年4月1日現在）

（資料：登別市児童生徒数・学級数調書 R3.4）

分類	名称	建築年度	児童生徒数			学級数		
			通常学級	特別支援	計	通常学級	特別支援	計
小学校	幌別小学校	S53	253	2	255	11	2	13
	幌別西小学校	S47	273	14	287	11	4	15
	登別小学校	S44	111	10	121	6	2	8
	鷺別小学校	H26	248	5	253	10	2	12
	富岸小学校	S52	351	14	365	12	4	16
	幌別東小学校	S44	72	3	75	6	2	8
	若草小学校	S45	283	12	295	11	2	13
	青葉小学校	S51	235	6	241	11	2	13
	<b>計</b>		<b>1,826</b>	<b>66</b>	<b>1,892</b>	<b>78</b>	<b>20</b>	<b>98</b>
中学校	幌別中学校	S36	139	5	144	5	2	7
	鷺別中学校	S37	267	8	275	9	2	11
	登別中学校	S38	81	3	84	3	2	5
	西陵中学校	S48	138	2	140	6	2	8
	緑陽中学校	S57	384	5	389	12	2	14
	<b>計</b>		<b>1,009</b>	<b>23</b>	<b>1,032</b>	<b>35</b>	<b>10</b>	<b>45</b>

※建築年度は、取り壊したもののや解体中のものを除いた最も古い年度を記載

## イ 児童生徒数の推移及び将来推計

本市における将来児童生徒数について、2030年（令和12年）では小学生が1,442人、中学生が826人、全体で2,268人となり、2055年（令和37年）では小学生が868人、中学生が440人、全体で1,308人と推計されています。



図 2-2-1 児童生徒数の推移及び将来推計

## (2) 施設利用者数の推移（社会教育施設）

平成20年～令和2年までの本編の対象となる社会教育施設の利用者数を、図2-2-2に示します。

### <施設別の利用状況>

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、すべての施設において利用者が大幅に減少しており、令和2年度を除いた施設の利用状況を次に示します。

市民会館は、市民プールについて利用者数が多い状況でしたが、平成20年以降は利用者数が減少傾向にあります。

総合体育館は、利用者数に大きな変化はありません。平成27年は大規模な改修工事のため一時的に閉館していたことから利用者が減少しています。

郷土資料館及び文化伝承館は、毎年0.3万人前後の利用者数となっており、ほぼ横ばいの状況です。ネイチャーセンターについても、利用者数は横ばい傾向で、2.3万人前後の利用者数で大きな変動なく推移しています。

市民プールは、本編の対象となる社会教育施設の中では利用者数が最も多く、毎年10万人を超え、その推移は横ばいの状況となっています。



図2-2-2 社会教育施設の利用者数（年度ごと）

(3) 対象教育施設の保有状況

ア 施設の保有量

■ 学校施設

対象となる学校施設は、小学校が8校、中学校が5校の合計13校です。

小学校全体の延床面積（校舎及び屋内運動場）は44,165㎡、中学校全体の延床面積は28,719㎡で、本編の対象施設をすべて合わせた延床面積は72,884㎡です。

表 2-2-2 学校施設の保有状況（小学校①）

幌別小学校				
住 所	中央町 6-19-1			
	校舎	屋内運動場		
構 造	R C造	S造		
階 数	2	1		
建築年度	H5 (1993)	S53 (1978)		
幌別西小学校				
住 所	片倉町 5-13			
	校舎	屋内運動場		
構 造	R C造	S造		
階 数	3	1		
建築年度	S47 (1972)	S58 (1983)		
登別小学校				
住 所	登別本町 3-25-2			
	校舎	屋内運動場		
構 造	R C造	S造		
階 数	2	1		
建築年度	S44 (1969)	S50 (1975)		
鷺別小学校				
住 所	鷺別町 4-36-21			
	校舎	屋内運動場		
構 造	R C造	S造		
階 数	4	2		
建築年度	H28 (2016)	H26 (2014)		

表 2-2-3 学校施設の保有状況（小学校②）

富岸小学校				
住 所	富岸町 2-17-4			
	校舎	屋内運動場		
構 造	RC造	S造		
階 数	3	1		
建築年度	S52 (1977)	S52 (1977)		
幌別東小学校				
住 所	幌別町 8-16-1			
	校舎	屋内運動場		
構 造	RC造	S造		
階 数	2	1		
建築年度	S44 (1969)	S61 (1986)		
若草小学校				
住 所	若草町 1-1-2			
	校舎	屋内運動場		
構 造	RC造	S造		
階 数	3	1		
建築年度	S45 (1970)	S53 (1978)		
青葉小学校				
住 所	青葉町 3-3			
	校舎	屋内運動場		
構 造	RC造	S造		
階 数	3	1		
建築年度	S51 (1976)	S51 (1976)		

表 2-2-4 学校施設の保有状況（中学校）

幌別中学校				
住 所	千歳町 3-1-3			
	校舎	屋内運動場		
構 造	RC造	S造		
階 数	4	1		
建築年度	S36 (1961)	H7 (1995)		
鷺別中学校				
住 所	鷺別町 4-36-6			
	校舎	屋内運動場		
構 造	RC造	S造		
階 数	3	1		
建築年度	S37 (1962)	S45 (1970)		
登別中学校				
住 所	登別本町 1-1-1			
	校舎	屋内運動場		
構 造	RC造	S造		
階 数	3	1		
建築年度	S38 (1963)	S52 (1977)		
西陵中学校				
住 所	片倉町 5-12-1			
	校舎	屋内運動場		
構 造	RC造	S造		
階 数	4	2		
建築年度	S48 (1973)	S49 (1974)		
緑陽中学校				
住 所	富岸町 1-11-1			
	校舎	屋内運動場		
構 造	RC造	S造		
階 数	4	1		
建築年度	S57 (1982)	S57 (1982)		

## ■ 社会教育施設

対象となる社会教育施設は、「文化施設（市民会館）」、「博物館（郷土資料館・文化伝承館）」、「スポーツ施設（総合体育館、市民プール）」、「青少年教育施設（ネイチャーセンター（本館、渡り廊下）」）の4区分6施設です。

各施設の延床面積は、「文化施設：4,686㎡」、「博物館：675㎡」、「スポーツ施設：6,317㎡」、「青少年教育施設：973㎡」で、対象施設の合計延床面積は、12,651㎡です。

表 2-2-5 社会教育施設の保有状況（長寿命化対象分）

市民会館			
住 所	富士町 7-33		
構 造	RC造		
階 数	2		
建築年度	S58(1983)		
郷土資料館・文化伝承館			
住 所	片倉町 6-27		
構 造	RC造		
階 数	2、文化伝承館 1		
建築年度	S55(1980)、 H7(1995)		
総合体育館			
住 所	若山町 2-26-1		
構 造	RC造		
階 数	3		
建築年度	S49(1974)		
市民プール			
住 所	幸町 1-5-2		
構 造	RC造		
階 数	2		
建築年度	H16(2004)		
ネイチャーセンター			
住 所	鉢山町 8-3		
構 造	RC造		
階 数	1		
建築年度	H14(2002)		

## イ 築年別整備状況

### ■ 学校施設

本市における学校施設の築年別整備状況をみると、対象となる学校施設のうち、昭和56年以前の旧耐震基準によって建設された棟数が71棟の80%、面積割合でも70%という高い割合を占めています。建設年度の古い学校施設が多くを占めている状況であることがわかります。

築年数でみると、築30年以上を経過している学校施設が棟数で92%、面積割合で83%を占めています。そのうち、築40~50年経過している学校施設が面積割合で全体の58%を占めている状況です。

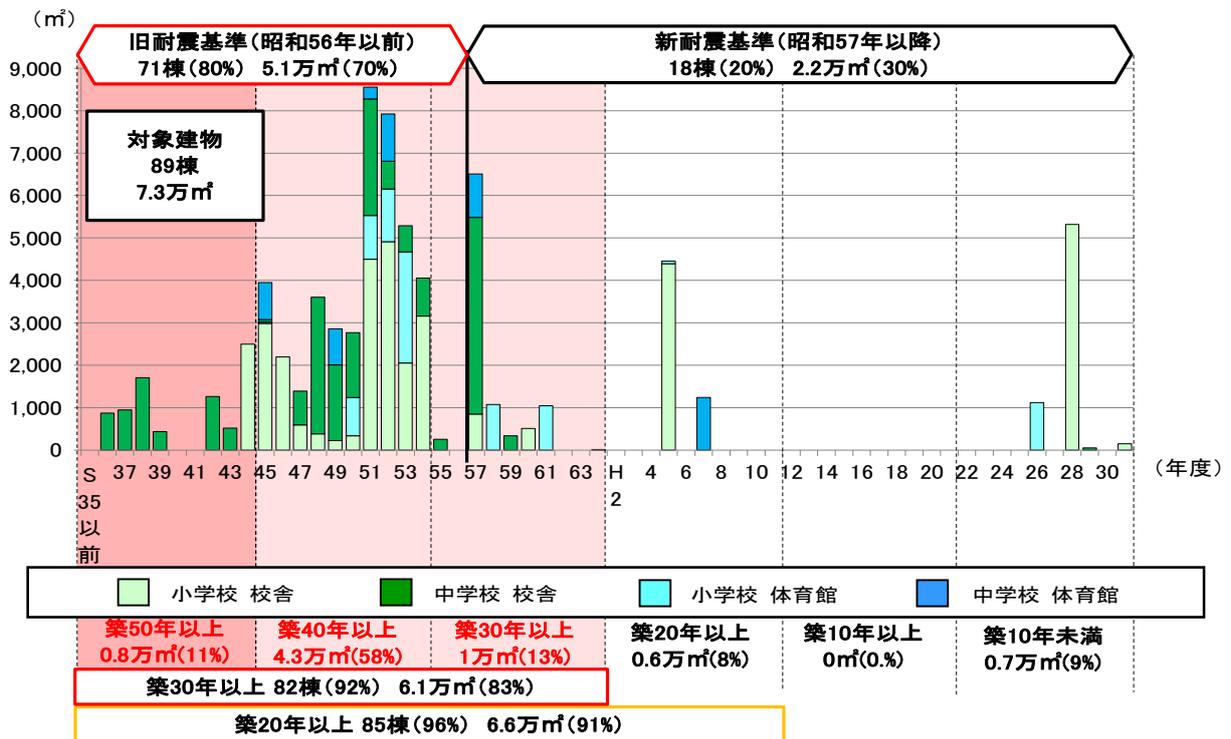


図 2-2-3 学校施設の築年別整備状況

## ■ 社会教育施設

本市における社会教育施設の築年数整備状況をみると、昭和56年以前の旧耐震基準によって建設されたのは郷土資料館、総合体育館の2棟で全体の33%、面積割合では26%を占める状態です。

築年数で見ると、築30年以上経過する社会教育施設は3棟で全体の50%を占め、築20年以上では4棟で67%、面積割合も67%を占めている状況です。

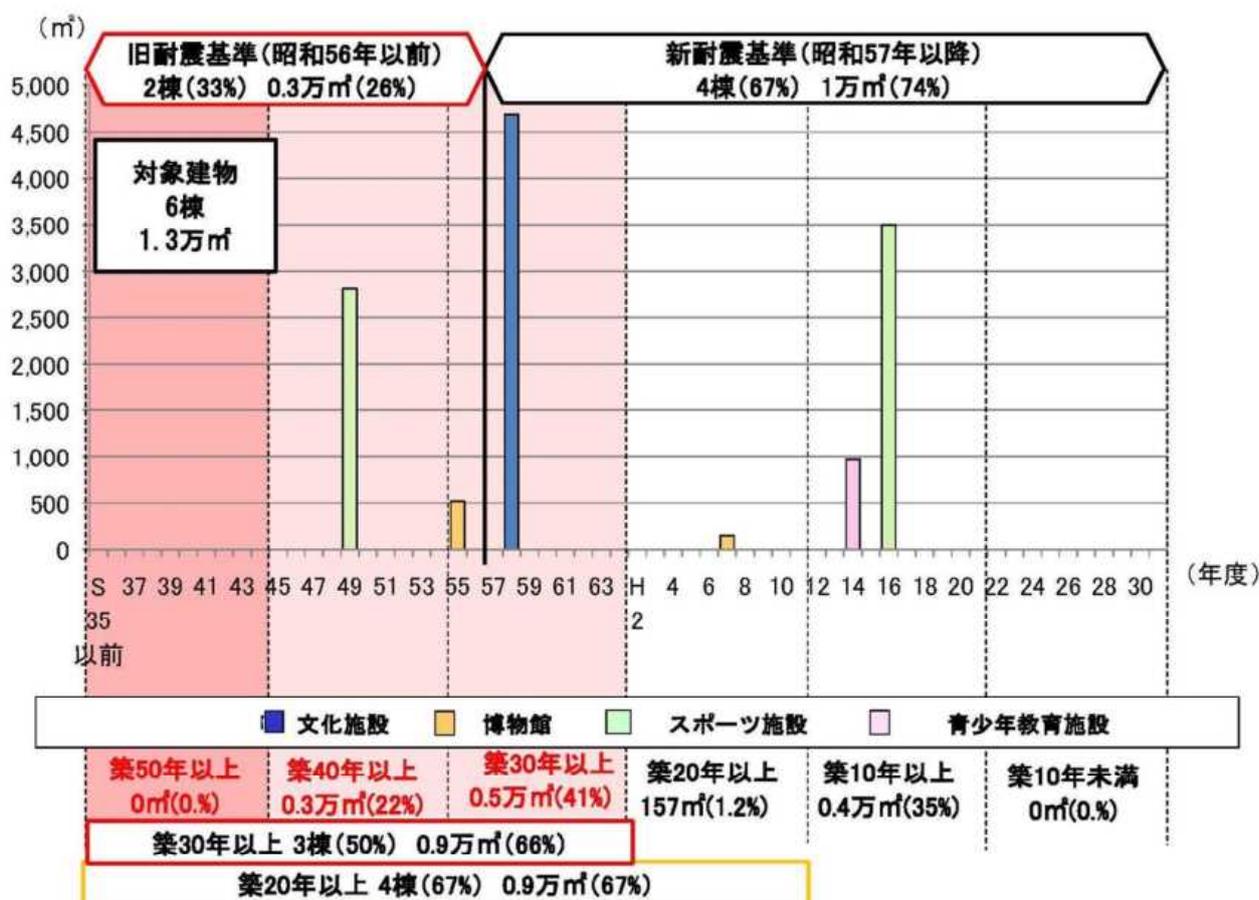


図 2-2-4 社会教育施設の築年別整備状況

#### (4) 教育施設の配置

本市における学校施設の配置について、図 2-2-5 に示します。また、本編の対象となる社会教育施設の配置について、図 2-2-6 に示します。

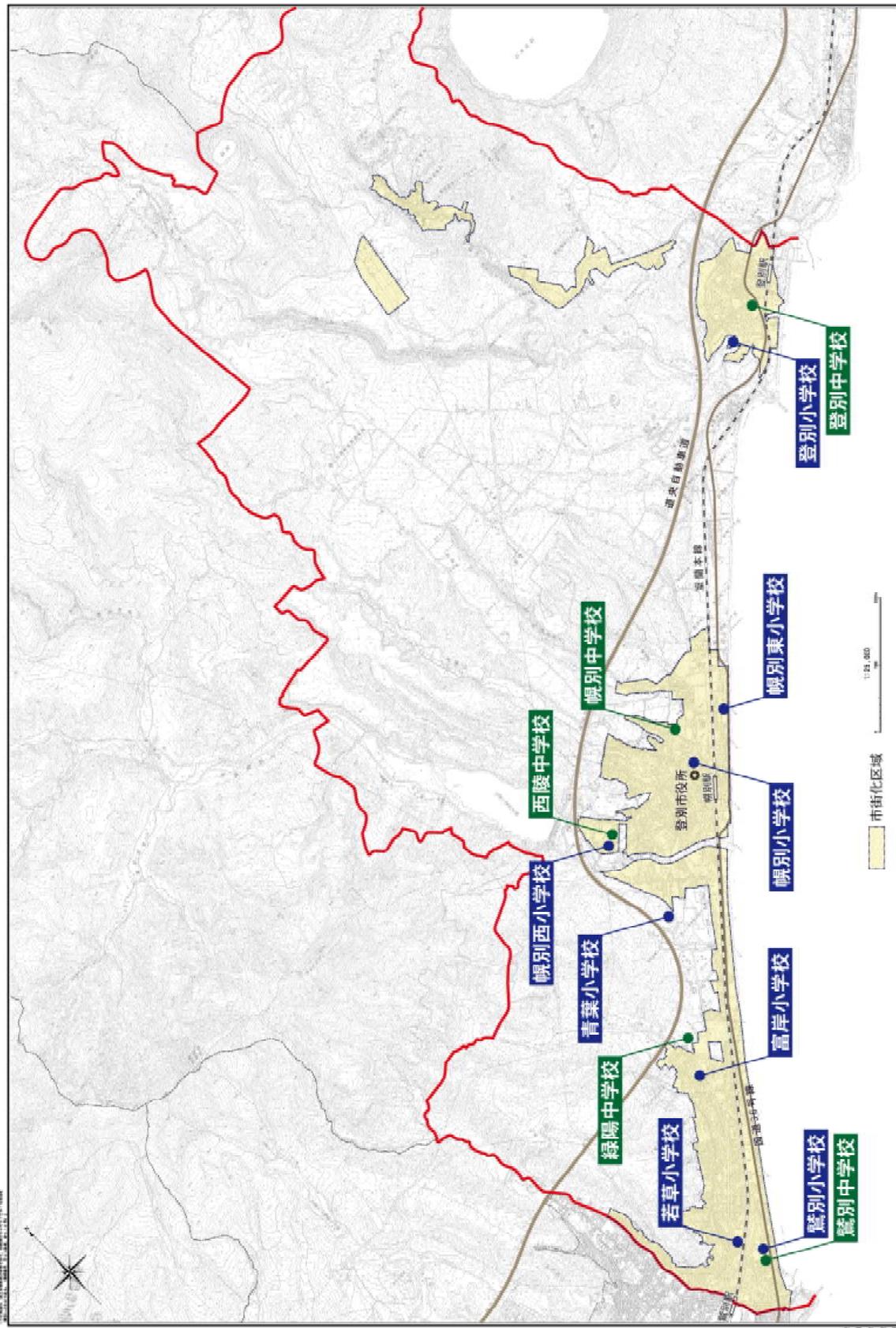


図 2-2-5 学校施設の位置図（赤枠は都市計画区域）

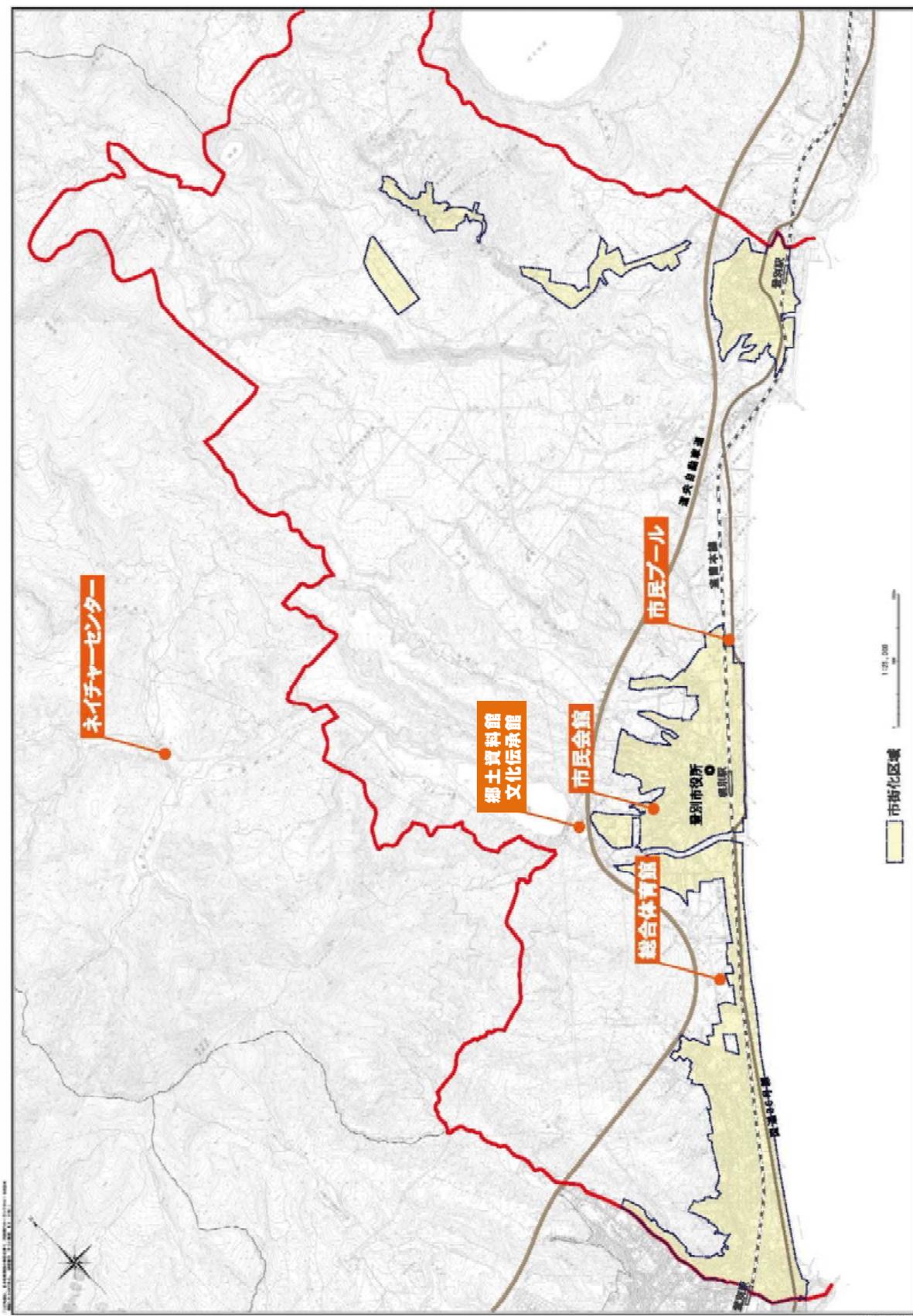


図 2-2-6 社会教育施設の位置図（赤枠は都市計画区域）

## (5) 施設関連経費の推移

学校施設及び社会教育施設の過去5年間の各施設関連経費について、次のとおり整理を行いました。各施設関連経費の内訳については、表2-2-6に示したとおりです。

**表 2-2-6 施設関連経費の内訳**

項目	内 訳
施設整備費	改築や改修工事（耐震、設備、防水、外壁等）に関する整備費
その他施設整備費	グラウンドやプール、その他敷地周辺（通路、舗装、外構等）、解体工事に関する整備費
維持修繕費	点検や清掃、検査等の施設維持や修繕に関する経費
光熱水費・委託費	電気・燃料（灯油、ガス）・水道料金、上記整備の委託（実施設計、工事監理等）に関する経費

### ■ 学校施設

学校施設の過去5年間の各施設関連経費の合計は約1.6億円～20.6億円で、5年間の平均は約8.2億円/年となっています。

**表 2-2-7 学校施設の施設関連経費の推移（平成26～30年分）**

(単位：千円)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
施設整備費	707,357	1,892,538	57,737	142,452	256,284
その他施設整備費	22,486	30,186	0	392,108	10,681
維持修繕費	25,505	28,180	11,972	17,422	15,895
光熱水費・委託費	118,375	106,005	87,063	83,080	81,151
<b>計</b>	<b>873,723</b>	<b>2,056,909</b>	<b>156,771</b>	<b>635,062</b>	<b>364,011</b>

※四捨五入により、合計が合わない場合があります

### ■ 社会教育施設

社会教育施設の過去5年間の施設関連経費の合計は約2.0億円～3.8億円で、5年間の平均は約2.5億円/年となっています。

**表 2-2-8 社会教育施設の施設関連経費の推移（平成26～30年分）**

(単位：千円)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
施設整備費	26,429	184,591	2,960	8,997	33,924
その他施設整備費	7,970	0	0	0	1,390
維持修繕費	13,216	6,843	7,497	11,806	6,574
光熱水費・委託費	185,062	184,216	184,688	187,995	191,033
<b>計</b>	<b>232,677</b>	<b>375,650</b>	<b>195,145</b>	<b>208,798</b>	<b>232,921</b>

※四捨五入により、合計が合わない場合があります

## (6) 今後の維持・更新コスト（従来型）

改築及び大規模改造による従来型（長寿命化を行わない場合）の管理を行った場合における今後40年間のコストを試算します。

### ■ 試算条件

従来型における今後の維持・更新コストの試算については、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月、文部科学省）」の試算方法に基づき、次の条件で設定しました。

表 2-2-9 対象施設の試算条件（従来型）

基準年度	
試算期間	基準年（2019）の翌年度から40年間
施設整備費	
改築（既存の建物を建て替える工事）	
更新周期	50年
改築単価	330,000円/㎡（学校施設） 360,000円/㎡（スポーツ施設） 400,000円/㎡（集会・文化施設、博物館等）
工事期間	2年
大規模改造（既存の建物の劣化による損傷や機能低下を回復させる改修工事）	
実施年数	20年周期
大規模改造単価 （改築単価の25%）	82,500円/㎡（学校施設） 90,000円/㎡（スポーツ施設） 100,000円/㎡（集会・文化施設、博物館等）
工事期間	1年
その他施設整備費、維持修繕費、光熱水費・委託費	
過去5年間（H26～H30）の経費の平均値を想定	

※ 改築単価は「登別市公共施設等総合管理計画」の「公共施設」における試算で用いた単価を使用しています

※ 工事期間は、単年度に費用負担を集中させないために行う設定であり、実際の工事期間を表すものではありません

■ 学校施設

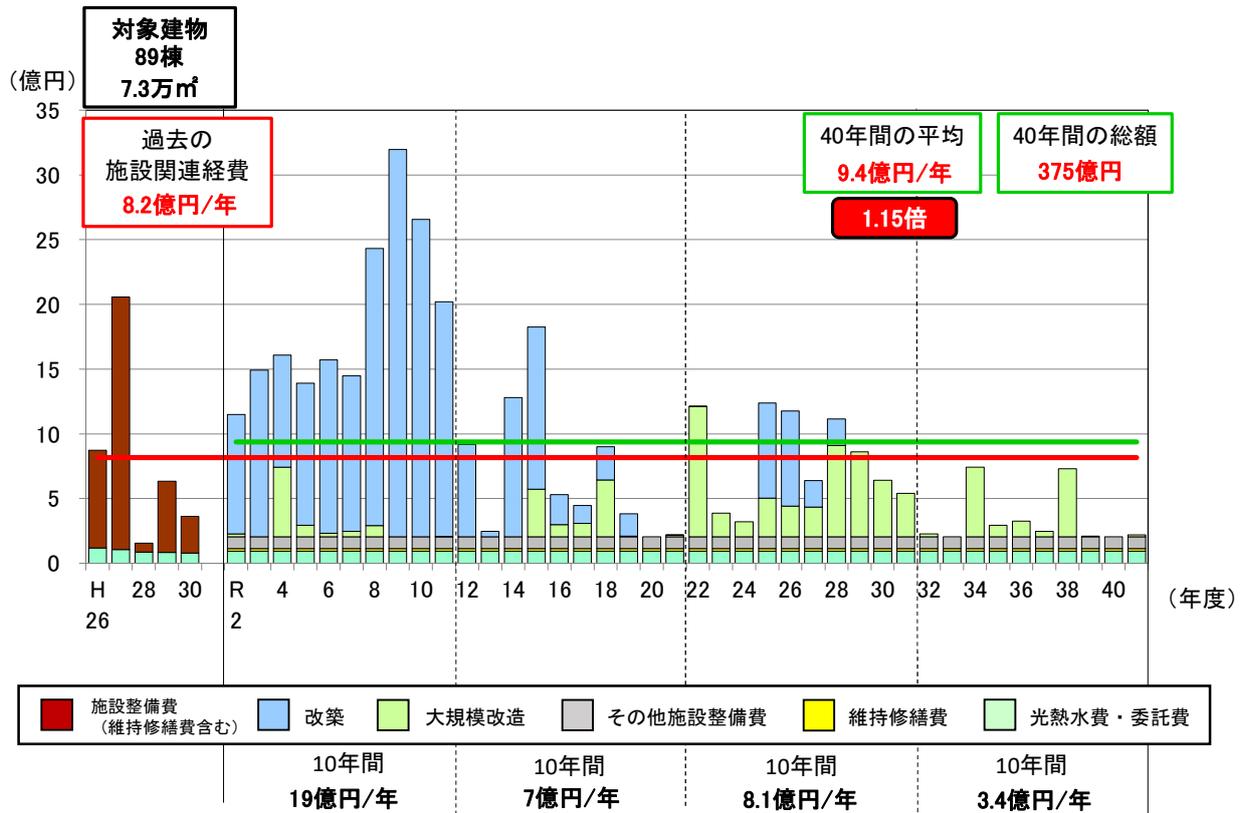


図 2-2-7 学校施設の今後の維持・更新コスト（従来型）

建築後 20 年で大規模改造を実施し、建築後 50 年で改築（建替）という更新サイクルを続けると仮定して今後の維持・更新コストを試算したところ、建築後 50 年で改築（建替）する従来型の管理を続けた場合における今後 40 年間のコスト総額は約 375 億円（年平均で約 9.4 億円）となります。

過去の施設関連経費 5 年間の年平均 8.2 億円と比較した場合における年平均のコストは約 1.15 倍となり、本市における今後の学校施設にかかる維持・更新コストは、従来の年平均関連経費の負担よりも大きくなります。

また、直近 10 年間においては、改築時期を迎える施設が集中していることから、年平均経費が 19.0 億円と年平均額の 2 倍以上になっています。

## ■ 社会教育施設

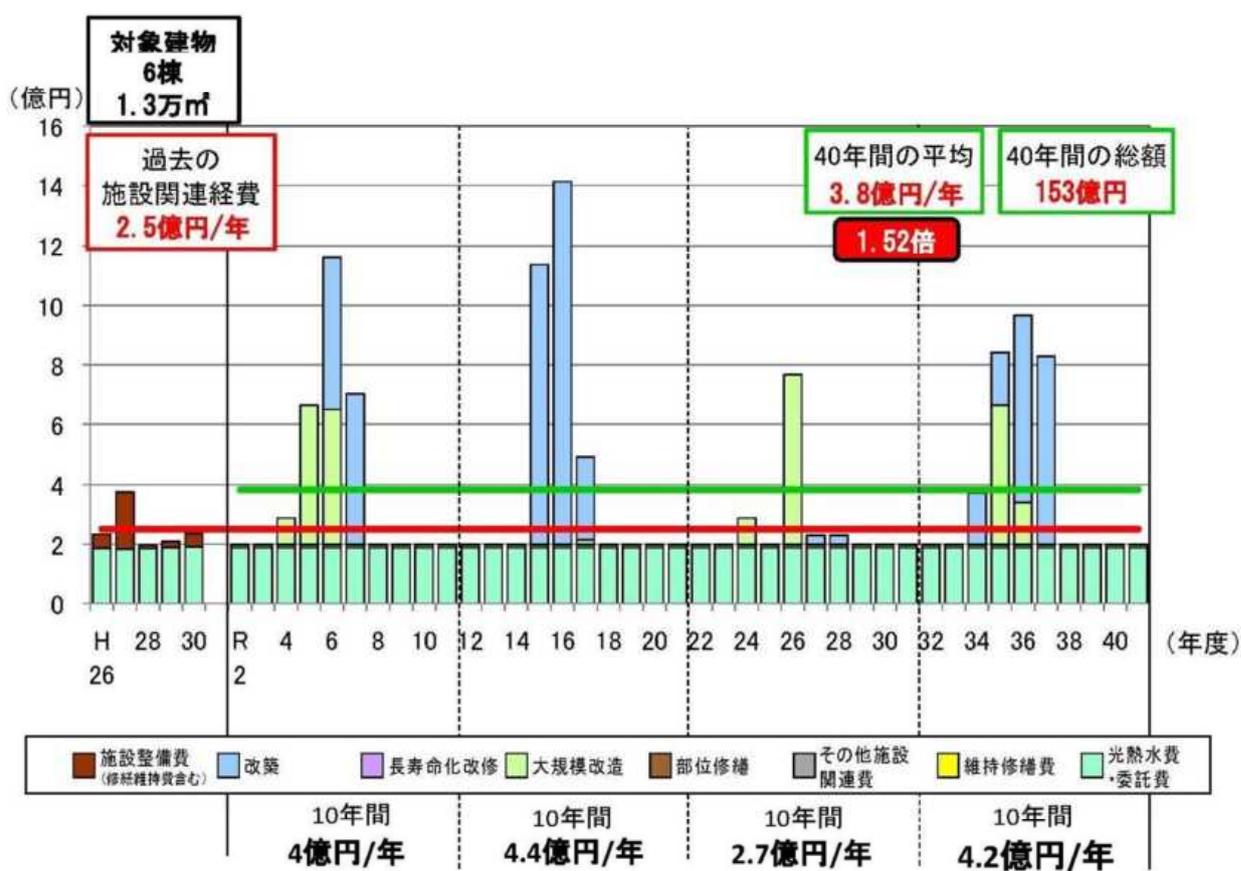


図 2-2-8 社会教育施設の今後の維持・更新コスト（従来型）

建築後 20 年で大規模改造を実施し、建築後 50 年で改築（建替）という更新サイクルを続けると仮定して今後の維持・更新コストを試算したところ、建築後 50 年で改築（建替）する従来型の管理を続けた場合における今後 40 年間のコスト総額は約 153 億円（年平均で約 3.8 億円）となります。

過去の施設関連経費 5 年間の年平均 2.5 億円と比較した場合における年平均のコストは約 1.52 倍となり、本市における今後の社会教育施設にかかる維持・更新コストは、従来の年平均関連経費の負担よりも大きくなります。

また、直近 10～20 年間ににおける改修及び改築時期を迎える施設に対する費用は、4 億円を超えています。

以上の試算結果から、学校施設・社会教育施設のいずれにおいても、今後従来の改築（建替）中心の整備を継続していくことは財政状況を考慮すると困難であり、長寿命化の視点を踏まえた施設整備計画や事業費の平準化等について検討することが必要といえます。

## 2 施設の老朽化状況の実態

文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）」に基づき、構造躯体の健全性と構造躯体以外の劣化状況の評価を行います。

### (1) 構造躯体の健全性

建物を長期間使用していく（長寿命化する）ためには、表2-2-10に示す建物情報一覧表の内容のうち、構造躯体が健全でなければ安全性を確保することができません。構造躯体の健全性は、図2-2-9に示す「耐震の安全性（耐震基準）」と「長寿命化判定」の項目により評価します。

表 2-2-10 建物情報一覧表の内容

項目	内容
建物基本情報	公有財産台帳（施設名、構造、階数、延床面積、建築年度等）
構造躯体の健全性 （図2-2-9）	耐震安全性 新耐震・旧耐震基準 旧耐震基準の場合は耐震診断結果による
	長寿命化判定 RC造の場合コンクリート圧縮強度をもとに判定 （圧縮強度が13.5N/mm <sup>2</sup> を超える場合は「長寿命判定」）
劣化状況評価 （本計画書47～50ページ：表2-2-15～18）	5部位（屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備）の劣化状況調査をもとに健全度評価

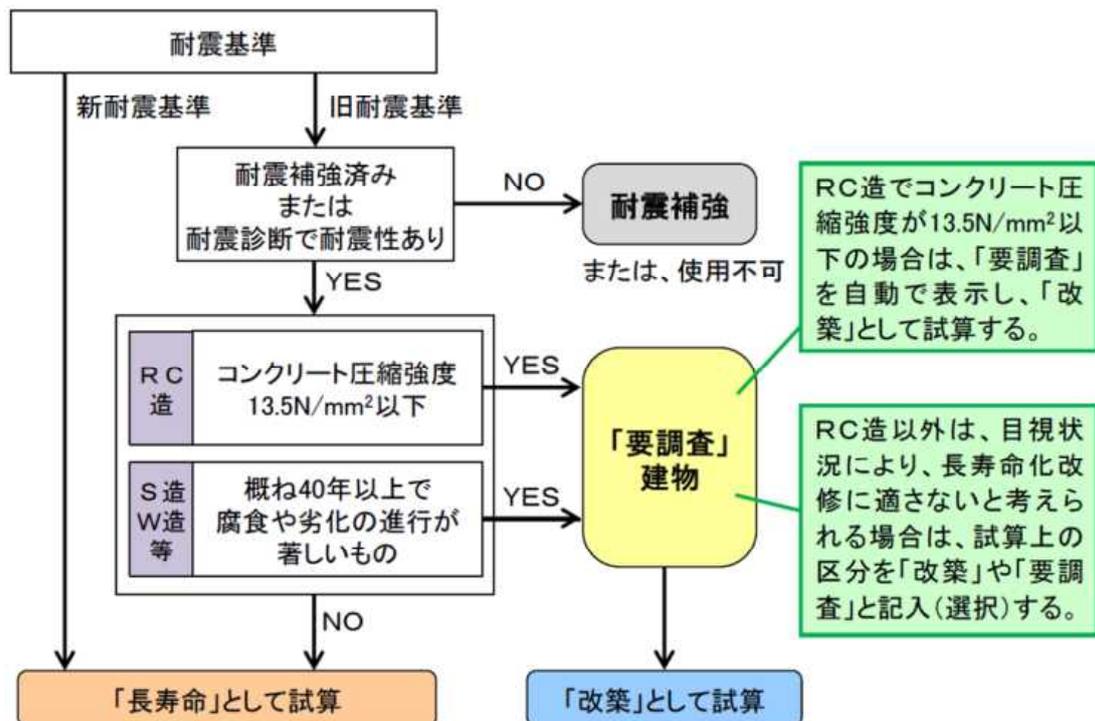


図 2-2-9 長寿命化可否判定フロー（文科省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より）

## <構造躯体の健全性評価による教育施設の長寿命化判定結果>

### ■ 学校施設

本編の対象となる市内のすべての小中学校において、「長寿命化が可能」の判定となりました。（表 2-2-11）。

### ■ 社会教育施設

本編の対象となる社会教育施設において、「長寿命化が可能」の判定となりました。

なお、耐震診断及び耐震化が未実施である郷土資料館については、令和4年度に耐震診断を実施し耐震化に向けた検討を予定していることから、「長寿命化が可能」と判断しています。（表 2-2-12）

表 2-2-11 学校施設の耐震化状況

分類	施設名	耐震化状況	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	長寿命化判定	
小学校	幌別小学校	校舎	新耐震	—	長寿命
		屋内運動場	H24 耐震化済	—	長寿命
	幌別西小学校	校舎	R1 耐震化済	29.1	長寿命
		屋内運動場	新耐震	—	長寿命
	登別小学校	校舎	R1 耐震化済	25.6	長寿命
		屋内運動場	H25 耐震化済	—	長寿命
	鷺別小学校	校舎	新耐震(H28 改築済)	—	長寿命
		屋内運動場	新耐震(H26 改築済)	—	長寿命
	富岸小学校	校舎	H30 耐震化済	38.1	長寿命
		屋内運動場	H25 耐震化済	42.4	長寿命
	幌別東小学校	校舎	R2 耐震化済	22.8	長寿命
		屋内運動場	新耐震	—	長寿命
	若草小学校	校舎	H14 耐震化済	30.6	長寿命
		屋内運動場	H14 耐震化済	—	長寿命
青葉小学校	校舎	H28 耐震化済	21.9	長寿命	
	屋内運動場	H23 耐震化済	—	長寿命	
中学校	幌別中学校	校舎	R2 耐震化済	23.1	長寿命
		屋内運動場	新耐震	—	長寿命
	鷺別中学校	校舎	H26 耐震化済	22.3	長寿命
		屋内運動場	H22 耐震化済	—	長寿命
	登別中学校	校舎	H29 耐震化済	28.7	長寿命
		屋内運動場	H23 耐震化済	—	長寿命
	西陵中学校	校舎	H11 耐震化済	29.2	長寿命
		屋内運動場	H24 耐震化済	—	長寿命
緑陽中学校	校舎	新耐震	—	長寿命	
	屋内運動場	新耐震	—	長寿命	

※学校施設の圧縮強度は、RC 造のうち最も低い値を記載

※新耐震及び耐震化済施設における想定震度の目安は震度 6 強程度です。

表 2-2-12 社会教育施設の耐震化状況

分類	施設名	耐震化状況	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	長寿命化判定
社会教育施設	市民会館	新耐震	—	長寿命
	郷土資料館	R4 年度耐震診断実施予定	39.0	長寿命
	文化伝承館	新耐震	—	長寿命
	総合体育館	H27 耐震化済	29.9	長寿命
	市民プール	新耐震	—	長寿命
	ネイチャーセンター	新耐震(本館)	—	長寿命

※新耐震及び耐震化済施設における想定震度の目安は震度 6 強程度です。

## (2) 構造躯体以外の劣化状況

### ア 劣化状況の評価方法

本編の対象である教育施設に対して、「劣化状況調査票」を用いて構造躯体以外の劣化状況について評価するため、現地調査を実施し、その結果を整理しています。

劣化状況の評価方法は、「屋上・屋根、外壁」については目視により、「内部仕上げ、電気・機械設備」については経過年数による評価を基本とし、各部材等の劣化規模や、劣化による他の部材への影響等を踏まえながら、A～Dの4段階で総合的に評価しています（次頁の表 2-2-13、表 2-2-14）。

さらに、5つの部位（①屋根・屋上、②外壁、③内部仕上げ、④電気設備、⑤機械設備）に対する劣化状況の評価により、100点を満点として健全度を算定し、数値化を行います。算定方法は、次の図 2-2-10 に示す文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月）」の評価基準に準拠するものとします。

#### ① 部位の評価点

評 定	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

#### ② 部位のコスト配分

部 位	コスト配分
1. 屋根・屋上	5.1
2. 外壁	17.2
3. 内部仕上げ	22.4
4. 電気設備	8.0
5. 機械設備	7.3
計	60

#### ③ 健全度

$$\text{総 和 (部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す

#### (健全度計算例)

1. 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	=	204
2. 外壁	D	→	10	×	17.2	=	172
3. 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	=	1,680
4. 電気設備	A	→	100	×	8.0	=	800
5. 機械設備	C	→	40	×	7.3	=	292
					計		3,148
					÷		60
					健全度		<b>52</b>

図 2-2-10 健全度の算出方法

表 2-2-13 劣化状況の判断基準（目視による評価）

①目視による評価（屋根・屋上及び外壁）

評価	基準	点検対象部材及び点検項目	
		屋根・屋上	外壁
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アスファルト保護防水</li> <li>■ 露出防水</li> <li>■ シート防水</li> <li>■ 塗膜防水</li> <li>■ 金属板等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 塗り仕上げ</li> <li>■ タイル張り・石張り</li> <li>■ 金属系パネル</li> <li>■ セメント系パネル</li> <li>■ 窓（サッシ）</li> </ul>
A	概ね良好		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外壁において、コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか</li> </ul>
B	部分的に劣化 (安全上、機能上、問題なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最上階の天井において、降雨時やその翌日の雨漏りがないか。または、雨漏りが原因と思われるシミ・カビ等はないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外壁の室内側において、雨漏りと思われるシミ垂れや塗装の剥がれはないか。また、降雨時や翌日に床面に水溜りができていないか</li> </ul>
C	広範囲に劣化 (安全上、機能上、不具合発生の兆し)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 防水面において、膨れ・剥がれ・破れ・穴開き等がないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外装材（モルタル・タイル・吹付材等の仕上げ材）の亀裂・浮き・剥離・ひび割れ及び破損等はないか</li> </ul>
D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 金属屋根において、錆・損傷・腐食等がないか</li> <li>■ 上記の劣化事象の箇所や規模はどの程度か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建具枠、蝶番等の腐食・変形・ぐらつき等はないか</li> <li>■ 窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化・切れ・剥がれ等はないか</li> <li>■ 上記の劣化事象の箇所や規模はどの程度か</li> </ul>

表 2-2-14 劣化状況の判断基準（経過年数による評価）

②経年劣化による評価（内部仕上げ、電気・機械設備）

評価	基準	点検対象部材及び点検項目	
		内部仕上げ	電気・機械設備
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 床・壁・天井</li> <li>■ 内部開口部（扉・窓・防火戸）</li> <li>■ 室内表示・手すり・固定家具等</li> <li>■ 照明器具・衛生器具・冷暖房器具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 建物内の分電盤・配線・配管（電灯・コンセント・弱電設備）</li> <li>■ 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管・ガス配管</li> </ul>
A	20年未満		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 機器や架台に錆・損傷・腐食等はないか</li> <li>■ 設備機器に漏水・漏油等はないか</li> </ul>
B	20～40年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内部においては、床・壁・天井のコンクリートの亀裂やボード類の浮き・損傷等はないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 給水設備においては、使用水に赤水や異臭はないか</li> <li>■ 機器から異音等はしていないか</li> </ul>
C	40年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 天井ボードの落下や床シートの剥がれ等により安全性が損なわれている所はないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保守点検や消防の査察等で、是正措置等の指摘はないか</li> </ul> <p>※電気設備においては、受変電設備・自家発電設備・幹線設備は共用設備のため対象外</p> <p>※機械設備においては、受水槽・高置水槽・浄化槽・各種ポンプ・屋外配管は共用設備のため対象外</p>
D	経年劣化に関わらず著しい劣化事象がある場合		

## イ 劣化状況評価結果概要と評価一覧

調査対象施設において、劣化状況の概要を次に整理しました。

また、各調査対象施設における劣化状況の評価については、ウ 劣化状況の評価一覧で整理しました。

### 【学校施設の劣化状況概要】

#### ■ 小学校の劣化状況評価概要

幌別西小学校、富岸小学校及び青葉小学校の校舎は、内部仕上げや電気設備についてC評価が多くなっています。

幌別東小学校の校舎、屋内運動場共に、外壁がC評価となっています。

幌別小学校の屋内運動場、登別小学校の校舎、富岸小学校の校舎、青葉小学校の校舎及び屋内運動場は、機械設備についてD評価が散見されます。

#### ■ 中学校の劣化状況評価概要

西陵中学校の校舎、緑陽中学校の校舎や屋内運動場は、屋根・屋上、外壁及び内部仕上げについてC～D評価が多くなっています。

鷲別中学校の校舎は、内部仕上げについてC評価が多くなっており、電気設備、機械設備の一部についてD評価となっています。

幌別中学校の校舎は、機械設備の一部についてD評価となっており、内部仕上げと電気設備の一部についてC評価となっています。

登別中学校の校舎は、機械設備の一部についてC評価となっています。

## 【社会教育施設の劣化状況概要】

### ■ 文化施設（市民会館）

市民会館の健全度は82点であり、外壁の状態は良好で、それ以外の部位では部分的な劣化がみられます。内部仕上げや設備系統は、全面改修等が未実施で、経年劣化がみられます。

### ■ 博物館（郷土資料館、文化伝承館）

郷土資料館の健全度は75点、文化伝承館の健全度は77点であり、経年劣化がみられます。

内部仕上げや設備系統についても、経年劣化がみられます。

### ■ スポーツ施設（総合体育館、市民プール）

総合体育館は、平成27年の大規模改造の実施に伴い健全度は88点と高い結果となりました。市民プールの健全度は76点ですが、屋根・屋上について広範囲の劣化（雨漏り等）がみられるためD評価となっています。外壁、内部仕上げについても劣化箇所が認められています。

### ■ 青少年教育施設（ネイチャーセンター）

ネイチャーセンターの健全度は88点と高い結果になっていますが、屋根・屋上について広範囲の劣化がみられるためC評価となっており、それ以外は概ね良好な状況となっています。

## ウ 劣化状況の評価一覧

### ① 幌別小学校

劣化状況評価										
劣化状況概要	校舎の屋上・屋根及び外壁は、広範囲に劣化がみられる。機械設備は、給排水管に経年劣化がみられる。屋内運動場の機械設備は、給排水管に経年劣化がみられる。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎	RC	2	4,394	1993	26	C	C	B	B	C
屋内運動場1	S	1	60	1993	26	A	B	A	A	D
屋内運動場2	S	1	1,442	1978	41	A	B	A	A	D



①校舎 屋根・屋上(C評価)

代表写真: 屋上防水の摩耗

所見: 広範囲に劣化。



②校舎 屋根・屋上(C評価)

代表写真: 屋上保護モルタル目地から草の生え出し

所見: 広範囲に劣化。雨漏りが1箇所。



③校舎 外壁(C評価)

代表写真: 窓廻りのモルタル割れ

所見: 広範囲に劣化。



④校舎 内部仕上(B評価)

代表写真: 教室の床の塗装剥離

所見: 26年経過で、経年劣化。



⑤校舎 機械設備(C評価)

代表写真: 排水配管の錆

所見: 26年経過で、経年劣化。



⑥屋内運動場 機械設備(D評価)

代表写真: 給水配管

所見: 41年経過で、経年劣化。

②幌別西小学校

劣化状況評価										
劣化状況概要	校舎1～3の屋根は、広範囲に錆が進行している。 校舎1～3と校舎4～8の内部仕上、電気設備に経年劣化がみられる。 屋内運動場の屋根・屋上、外壁は、改修が行われており、良好である。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎1	RC	2	594	1972	47	C	A	C	C	B
校舎2	RC	2	342	1973	46	C	A	C	C	B
校舎3	RC	1	40	1973	46	C	A	C	C	B
校舎4	RC	3	2,050	1978	41	A	A	C	C	B
校舎5	RC	3	1,480	1979	40	A	A	C	C	B
校舎6	RC	3	996	1979	40	A	A	C	C	B
校舎7	RC	2	630	1979	40	A	A	C	C	B
校舎8	RC	1	56	1979	40	A	A	C	C	B
校舎9	S	1	145	2019	0	A	A	A	A	A
屋内運動場1	S	1	12	1983	36	A	A	B	B	B
屋内運動場2	S	1	1,063	1983	36	A	A	B	B	B



①校舎1～3 屋根・屋上(C評価)  
代表写真: 屋根の錆  
所見: 広範囲に劣化。



②校舎1～3 内部仕上(C評価)  
代表写真: 便所床の汚損  
所見: 47年経過で、広範囲に劣化。



③校舎1～3 電気設備(C評価)  
代表写真: 分電盤  
所見: 47年経過。



④校舎4～8 内部仕上(C評価)  
代表写真: 児童玄関風除天井の水シミ  
所見: 41年経過で、広範囲に劣化。



⑤校舎4～8 電気設備(C評価)  
代表写真: 動力盤底面  
所見: 41年経過で、結露水による錆がある。



⑥屋内運動場 機械設備(B評価)  
代表写真: 排水配管  
所見: 20年経過。

③登別小学校

劣化状況評価										
劣化状況概要	校舎1～4の屋根・屋上と外壁は、R元年度に改修工事を実施。 機械設備は、給排水管に経年劣化がみられる。 屋内運動場は、全項目良好である。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎1	RC	2	1,251	1969	50	A	A	B	B	D
校舎2	RC	1	270	1971	48	A	A	B	B	D
校舎3	RC	2	1,197	1971	48	A	A	B	B	D
校舎4	RC	2	1,082	1976	43	A	A	C	B	D
屋内運動場	S	1	902	1975	44	A	A	A	A	A



①校舎1 機械設備(D評価)  
代表写真:排水配管  
所見:50年経過で、経年劣化。



②校舎3 内部仕上(B評価)  
代表写真:1階廊下の天井のシミ  
所見:30年経過で、経年劣化。



③校舎3 電気設備(B評価)  
代表写真:電気配線モールの錆出し  
所見:30年経過で、経年劣化。



④校舎4 内部仕上(C評価)  
代表写真:教室床の汚損及び塗装剥離  
所見:43年経過で、経年劣化。



⑤屋内運動場 屋根・屋上(A評価)  
代表写真:屋根  
所見:良好。



⑥屋内運動場 内部仕上(A評価)  
代表写真:アリーナ  
所見:6年経過で、劣化はみられない。

④ 鷺別小学校

劣化状況評価										
劣化状況概要	建築から校舎は3年、屋内運動場は5年経過で、全項目良好である。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎	RC	4	5,322	2016	3	A	A	A	A	A
屋内運動場	RC	2	1,118	2014	5	A	A	A	A	A



①校舎 屋根・屋上(A評価)

代表写真:屋上

所見:良好。



②校舎 外壁(A評価)

代表写真:シャッター枠の錆出し

所見:全体的には良好。



③校舎 内部仕上(A評価)

代表写真:教室

所見:良好。



④屋内運動場 屋根・屋上(A評価)

代表写真:屋上防水

所見:良好。



⑤屋内運動場 外壁(A評価)

代表写真:スチールドアの錆出し

所見:全体的には良好。



⑥屋内運動場 機械設備(A評価)

代表写真:排水配管

所見:良好。

⑤富岸小学校

劣化状況評価										
劣化状況概要	校舎1と校舎2～3の内部仕上、電気設備及び機械設備は、経年劣化がみられる。屋内運動場は、全項目良好である。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎1	RC	1	745	1977	42	A	A	C	C	D
校舎2	RC	1	195	1977	42	A	A	C	C	D
校舎3	RC	3	3,053	1977	42	A	A	C	C	D
校舎4	RC	3	506	1985	34	A	A	B	B	B
屋内運動場1	S	1	975	1977	42	A	A	A	A	A
屋内運動場2	RC	1	230	1977	42	A	A	A	A	A
屋内運動場3	RC	1	37	1977	42	A	A	A	A	A



①校舎2～3 内部仕上(C評価)  
代表写真:廊下天井のシミ  
所見:42年経過で、経年劣化。



②校舎2～3 電気設備(C評価)  
代表写真:制御盤地際の腐食  
所見:42年経過で、経年劣化。



③校舎2～3 機械設備(D評価)  
代表写真:排水配管の腐食  
所見:42年経過で、経年劣化。



④校舎1 機械設備(D評価)  
代表写真:理科室外部フードの錆  
所見:42年経過で、経年劣化。



⑤校舎1 内部仕上(C評価)  
代表写真:廊下床ビニールタイルの割れ  
所見:42年経過で、経年劣化。



⑥屋内運動場 外壁(A評価)  
代表写真:外壁  
所見:良好。

⑥幌別東小学校

劣化状況評価										
劣化状況概要	校舎の外壁は、広範囲に劣化がみられる。内部仕上げ及び機械設備は、経年劣化がみられる。屋内運動場の外壁に鉄筋露出が4箇所程度みられる。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎1	RC	2	1,244	1969	50	A	C	C	B	C
校舎2	RC	1	303	1970	49	A	C	C	B	C
校舎3	RC	2	982	1970	49	A	C	C	B	C
屋内運動場1	S	1	29	1970	49	A	C	B	B	B
屋内運動場2	S	1	1,042	1986	33	A	C	B	B	B



①校舎 外壁(C評価)  
代表写真: 外壁モルタルの割れ  
所見: 広範囲に劣化。



②校舎 外壁(C評価)  
代表写真: 外壁鉄筋露出  
所見: 広範囲に劣化。



③校舎 内部仕上(C評価)  
代表写真: 教室壁の塗膜剥離  
所見: 50年経過で、経年劣化。



④校舎 機械設備(C評価)  
代表写真: 水飲み場給水管保温巻きの剥がれ  
所見: 50年経過で、経年劣化。



⑤屋内運動場 外壁(C評価)  
代表写真: 外壁鉄筋爆裂  
所見: 広範囲に劣化。鉄筋露出が4箇所程。



⑥屋内運動場 内部仕上(B評価)  
代表写真: アリーナ床ラインの摩耗  
所見: 33年経過で、経年劣化。

⑦若草小学校

劣化状況評価										
劣化状況概要		校舎1の屋根・屋上は、板金の不具合による雨漏りの形跡がみられる。 校舎2の外壁は、塗膜の劣化がみられる。 屋内運動場の外壁は、広範囲に劣化がみられる。								
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎1	RC	1	288	1970	49	C	A	A	A	A
校舎2	RC	3	918	1977	42	A	C	A	A	A
校舎3	RC	2	1,069	1970	49	A	A	A	A	A
校舎4	RC	2	223	1974	45	A	A	A	A	A
校舎5	RC	2	338	1975	44	A	A	A	A	A
校舎6	RC	3	850	1982	37	A	A	A	A	A
校舎7	RC	2	343	1970	49	A	A	A	A	A
校舎8	RC	2	729	1971	48	A	A	A	A	A
屋内運動場	S	1	1,176	1978	41	A	C	A	A	A



①校舎1 屋根・屋上(C評価)  
代表写真:屋根と外壁取り合いの板金不具合  
所見:板金の不具合による雨漏りが1箇所。



②校舎1 内部仕上(A評価)  
代表写真:校長室の天井の水シミ  
所見:17年経過で、全体的には良好。



③校舎2 外壁(C評価)  
代表写真:外壁塗膜の剥離  
所見:広範囲に劣化。



④校舎2 外壁(C評価)  
代表写真:外壁塗膜の膨れ(内部に漏水)  
所見:広範囲に劣化。



⑤屋内運動場 外壁(C評価)  
代表写真:外壁塗膜の剥離  
所見:広範囲に劣化。



⑥屋内運動場 外壁(C評価)  
代表写真:ポーチ袖壁のひび割れ  
所見:広範囲に劣化。

⑧青葉小学校

劣化状況評価										
劣化状況概要	校舎の内部仕上、電気設備及び機械設備は、経年劣化がみられる。 屋内運動場の機械設備は、経年劣化がみられる。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎1	RC	3	2,338	1976	43	A	B	C	C	D
校舎2	S	1	60	1976	43	A	B	C	C	D
校舎3	RC	3	1,018	1976	43	A	B	C	C	D
屋内運動場1	S	1	1,017	1976	43	A	A	A	A	D
屋内運動場2	S	1	11	1976	43	A	A	A	A	D



①校舎 内部仕上(C評価)  
代表写真:ビニールタイルの剥離  
所見:43年経過で、経年劣化。



②校舎 内部仕上(C評価)  
代表写真:便所ブースの劣化  
所見:43年経過で、経年劣化。



③校舎 電気設備(C評価)  
代表写真:分電盤  
所見:43年経過。



④校舎 機械設備(D評価)  
代表写真:排水配管の劣化  
所見:43年経過で、経年劣化。



⑤屋内運動場 屋根・屋上(A評価)  
代表写真:屋根  
所見:良好。



⑥屋内運動場 機械設備(D評価)  
代表写真:排水配管の劣化  
所見:43年経過で、経年劣化。

⑨ 幌別中学校

劣化状況評価										
劣化状況概要	校舎1～10の内部仕上げ、校舎6～10の電気設備、機械設備の経年劣化がみられる。屋内運動場の屋根・屋上、外壁は、部分的な劣化がみられる。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎1	RC	2	870	1961	58	A	A	C	A	B
校舎2	RC	2	433	1964	55	A	A	C	A	B
校舎3	RC	2	434	1973	46	A	A	C	A	B
校舎4	RC	2	120	1976	43	A	A	C	A	B
校舎5	RC	2	48	1976	43	A	A	C	A	B
校舎6	RC	3	1,478	1975	44	A	A	C	C	D
校舎7	RC	3	615	1976	43	A	A	C	C	D
校舎8	RC	4	981	1976	43	A	A	C	C	D
校舎9	RC	3	72	1976	43	A	A	C	C	D
校舎10	RC	1	51	1975	44	A	A	C	C	D
屋内運動場	S	1	1,237	1995	24	B	B	B	B	B



①校舎1～5 屋根・屋上(A評価)

代表写真:板金屋根

所見:劣化はみられず良好



②校舎1～5 外壁(A評価)

代表写真:外壁

所見:劣化はみられず良好



③校舎6～10 屋根・屋上(A評価)

代表写真:屋上防水

所見:劣化はみられず良好



④校舎6～10 外壁(A評価)

代表写真:外壁

所見:劣化は見られず良好



⑤校舎6～10 内部仕上(C評価)

代表写真:教室床

所見:45年経過床、天井が経年劣化。



⑤校舎6～10 機械設備(D評価)

代表写真:水飲み場

所見:33年経過で、経年劣化。

⑩ 鷺別中学校

劣化状況評価										
劣化状況概要	校舎1～9の内部仕上、校舎6～9の電気設備及び校舎9の機械設備は、経年劣化がみられる。 屋内運動場は、電気設備及び機械設備に経年劣化がみられる。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎1	RC	3	950	1962	57	A	A	C	B	A
校舎2	RC	3	1,260	1967	52	A	A	C	B	A
校舎3	RC	3	518	1968	51	A	A	C	B	A
校舎4	RC	3	333	1972	47	A	A	C	B	A
校舎5	S	1	60	1970	49	A	A	C	B	A
校舎6	RC	3	613	1973	46	A	A	C	D	B
校舎7	RC	3	916	1976	43	A	A	C	D	B
校舎8	W	1	16	1989	30	A	A	C	D	B
校舎9	RC	2	891	1979	40	A	A	C	C	D
屋内運動場	S	2	879	1970	49	A	A	A	B	B



①校舎1～5 内部仕上(C評価)  
代表写真:壁の欠損を伴う大きなひび割れ  
所見:57年経過で、経年劣化。



②校舎6～8 内部仕上(C評価)  
代表写真:床スラブのひび割れ  
所見:46年経過で、経年劣化。



③校舎6～8 電気設備(D評価)  
代表写真:動力盤筐体の錆  
所見:46年経過で、経年劣化。



④校舎9 内部仕上(C評価)  
代表写真:壁面塗装の剥離  
所見:40年経過で、経年劣化。



⑤校舎9 機械設備(D評価)  
代表写真:金工室の温水器配管継手の腐食  
所見:40年経過で、経年劣化。



⑥屋内運動場 外壁(A評価)  
代表写真:外壁  
所見:良好。

⑪ 登別中学校

劣化状況評価										
劣化状況概要	全体的に良好である。 校舎6～9の機械設備は、経年劣化がみられる。 屋内運動場は、機械設備に経年劣化がみられる。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎1	RC	2	1,083	1963	56	A	A	A	A	B
校舎2	RC	2	288	1963	56	A	A	A	A	A
校舎3	RC	2	50	2017	2	A	A	A	A	A
校舎4	RC	1	308	1963	56	A	A	A	A	B
校舎5	RC	1	30	1963	56	A	A	A	A	B
校舎6	RC	2	72	1972	47	A	B	A	A	C
校舎7	RC	2	395	1972	47	A	B	A	A	C
校舎8	RC	3	594	1977	42	A	B	A	A	C
校舎9	RC	2	338	1984	35	A	B	A	A	C
屋内運動場	S	1	1,110	1977	42	A	A	A	A	B



①校舎1 機械設備(B評価)  
代表写真:瞬間湯沸器排水管の錆  
所見:未更新部分が経年劣化。



②校舎2 内部仕上(A評価)  
代表写真:廊下  
所見:良好。



③校舎4～5 機械設備(B評価)  
代表写真:油配管被覆の剥がれ  
所見:各部材ごとに改修されているため、劣化は部分的。



④校舎6～9 外壁(B評価)  
代表写真:ガラスブロックの割れ  
所見:部分的な劣化。



⑤校舎6～9 機械設備(C評価)  
代表写真:鉄板製フードの腐食  
所見:47年経過で、経年劣化。



⑥屋内運動場 機械設備(B評価)  
代表写真:排水管の錆  
所見:各部材ごとに改修されているため、劣化は部分的。

⑫西陵中学校

劣化状況評価										
劣化状況概要	校舎の屋根・屋上、外壁は、広範囲に劣化がみられ、特に屋上防水の劣化により雨漏りが生じている。 内部仕上は、雨漏り等による劣化が生じている。 屋内運動場は、電気設備及び機械設備に経年劣化がみられる。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎1	RC	4	2,172	1973	46	D	C	C	A	A
校舎2	RC	4	619	1978	41	D	C	C	A	A
校舎3	RC	4	1,782	1974	45	D	C	C	A	A
校舎4	RC	4	253	1980	39	D	C	C	A	A
校舎5	S	1	65	1977	42	D	C	C	A	A
屋内運動場1	S	2	850	1974	45	A	A	A	B	B
屋内運動場2	S	1	276	1976	43	A	A	A	B	B



①校舎 屋根、屋上(D評価)

代表写真:屋上防水層のひび割れ

所見:雨漏り1箇所、今後も雨漏りが進行すると思われる。



②校舎 外壁(C評価)

代表写真:外壁塗膜の剥離

所見:広範囲に劣化。鉄筋露出が1箇所。



③校舎 内部仕上(C評価)

代表写真:視聴覚室天井の水シミ

所見:19年経過で、経年劣化。



④屋内運動場 屋根(A評価)

代表写真:屋根

所見:良好。



⑤屋内運動 内部仕上(A評価)

代表写真:アリーナ

所見:良好。



⑥屋内運動場 電気設備(B評価)

代表写真:分電盤

所見:24年経過。

⑬緑陽中学校

劣化状況評価										
劣化状況概要	校舎及び屋内運動場の屋根・屋上、外壁は、広範囲に劣化がみられる。 屋内運動場の内部仕上は、経年劣化がみられる。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎	RC	4	4,632	1982	37	C	D	B	B	B
屋内運動場1	S	1	15	1982	37	D	D	C	B	B
屋内運動場2	S	1	1,000	1982	37	D	D	C	B	B
屋内運動場3	S	1	12	1982	37	D	D	C	B	B



①校舎 屋根・屋上(C評価)  
代表写真:屋上防水層の穴あき  
所見:防水層周辺で劣化が進行。



②校舎 外壁(D評価)  
代表写真:外壁北面の躯体劣化  
所見:広範囲に著しい劣化。



③校舎 外壁(D評価)  
代表写真:外部鉄扉の腐食の進行  
所見:広範囲に劣化。



④屋内運動場 屋根・屋上(D評価)  
代表写真:破風の錆、腐食  
所見:広範囲に著しい劣化。



⑤屋内運動場 外壁(D評価)  
代表写真:外壁鉄筋爆裂  
所見:広範囲に劣化。



⑥屋内運動場 内部仕上(C評価)  
代表写真:器具庫天井材の浮き  
所見:37年経過で、経年劣化。

⑭市民会館

劣化状況評価										
劣化状況概要	屋根・屋上は、部分的な経年劣化がみられる。内部仕上、電気設備及び機械設備は、経年劣化がみられる。ポーチは、沈降による割れが生じている。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
市民会館	RC	2	4,686	1983	36	B	A	B	B	B



①屋根・屋上(B評価)  
代表写真: 屋根の穴あき  
所見: 部分的な劣化。



②外壁(A評価)  
代表写真: 外壁に部分的なエフロ有り  
所見: 個別補修が必要な箇所もあるが、全体的には良好。



③内部仕上(B評価)  
代表写真: 壁クロスの剥がれ  
所見: 36年経過で、経年劣化。



④電気設備(B評価)  
代表写真: 分電盤  
所見: 36年経過で、経年劣化。



⑤機械設備(B評価)  
代表写真: ホームタンクの錆出し  
所見: 36年経過で、経年劣化。



⑥外構  
代表写真: ポーチの沈降による割れ  
所見: 沈降防止対策ののち個別補修が必要。

⑮ 郷土資料館

劣化状況評価										
劣化状況概要	建物全体的に経年劣化がみられる。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
郷土資料館	RC	2	518	1980	39	B	B	B	B	B



①屋根・屋上(B評価)

代表写真: 屋根

所見: 39年経過で、経年劣化。



②屋根・屋上(A評価)

代表写真: 屋上防水

所見: H23改修後10年経過、良好。



③外壁(B評価)

代表写真: 外壁東面の汚損

所見: 39年経過で、経年劣化。



④内部仕上(B評価)

代表写真: 展示室

所見: 39年経過で、経年劣化。



⑤電気設備(B評価)

代表写真: スイッチ

所見: 39年経過で、経年劣化。



⑥機械設備(B評価)

代表写真: 衛生器具配水管の錆

所見: 39年経過で、経年劣化。

⑩文化伝承館

劣化状況評価										
劣化状況概要	屋根・屋上は良好である。その他は、経年劣化がみられる。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
郷土資料館 (文化伝承館)	RC	1	157	1995	24	A	B	B	B	B



①屋根・屋上(A評価)

代表写真: 屋上

所見: 良好。



②屋根・屋上(A評価)

代表写真: 屋根スレート

所見: 良好。



③外壁(B評価)

代表写真: 外壁東面の汚損

所見: 部分的な劣化。



④内部仕上(B評価)

代表写真: 展示室

所見: 24年経過で、経年劣化。



⑤電気設備(B評価)

代表写真: 分電盤

所見: 24年経過。



⑥機械設備(B評価)

代表写真: ガス配管の錆

所見: 24年経過で、経年劣化。

①総合体育館

劣化状況評価										
劣化状況概要	屋根・屋上、外壁及び電気設備は、良好である。 内部仕上、機械設備は、経年劣化がみられる。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
総合体育館	RC	3	2,817	1974	45	A	A	B	A	B



①屋根・屋上(A評価)

代表写真: 屋根

所見: 良好。



②外壁(A評価)

代表写真: 外壁

所見: 良好。



③外壁(A評価)

代表写真: 玄関ドアの錆出しによる開閉不良

所見: 全体的には良好。



④内部仕上(B評価)

代表写真: ロッカー室の天井のシミ

所見: 4年経過で、未改修部分が劣化。



⑤電気設備(A評価)

代表写真: 分電盤

所見: 4年経過。



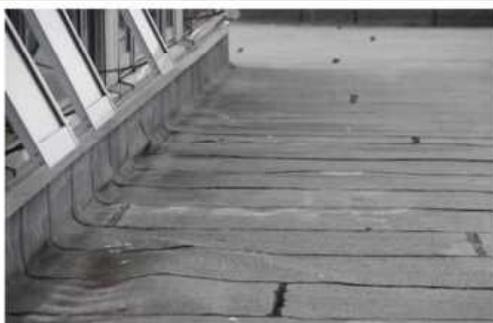
⑥機械設備(B評価)

代表写真: 老朽化した排風機

所見: 換気設備は未改修で老朽化。

⑱ 市民プール

劣化状況評価										
劣化状況概要	屋根・屋上は広範囲に劣化がみられ、雨漏りが複数箇所発生している。 内部仕上は、プール周りが塩素や湿気の影響で劣化が進行している。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
市民プール	RC	2	3,500	2004	15	D	B	B	A	A



①屋根・屋上(D評価)  
代表写真:屋上防水層内への水の進入  
所見:広範囲に劣化。雨漏りが複数。



②屋根・屋上(A評価)  
代表写真:屋根防水  
所見:劣化はみられず、良好。



③外壁(B評価)  
代表写真:外壁タイルの割れ  
所見:部分的な劣化。



④内部仕上(B評価)  
代表写真:プール表し梁の汚れ  
所見:15年経過だが、プール周りは劣化が進行。



⑤内部仕上(B評価)  
代表写真:プール周りのドアの錆  
所見:15年経過だが、プール周りは劣化が進行。



⑥機械設備(A評価)  
代表写真:ろ過器  
所見:プール設備は計画的に修繕を実施。

⑱ ネイチャーセンター

劣化状況評価										
劣化状況概要	屋根・屋上は、広範囲に劣化がみられる。 外壁は、部分的な劣化がみられる。 内部仕上、電気設備及び機械設備は良好である。									
建物名	構造	階数	延面積 (㎡)	建築年度		劣化状況				
				西暦	築年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
ネイチャー センター	RC	1	973	2002	17	C	B	A	A	A



①屋根・屋上(C評価)  
代表写真: 屋上立上りの防水層の膨れ  
所見: 広範囲に劣化。



②屋根・屋上(C評価)  
代表写真: 軒天の汚損  
所見: 広範囲に劣化。



③外壁(B評価)  
代表写真: 躯体の軽微なひび割れ  
所見: 部分的な劣化。



④内部仕上(A評価)  
代表写真: 渡り廊下  
所見: 17年経過で、良好。



⑤電気設備(A評価)  
代表写真: 電気配線  
所見: 17年経過。



⑥機械設備(A評価)  
代表写真: 換気ダクト  
所見: 17年経過。

(3) 建物基本情報と評価のまとめ

建物基本情報と構造躯体の健全性及び構造躯体以外の劣化状況評価について、学校施設は表 2-2-15 から表 2-2-17、社会教育施設は表 2-2-18 にそれぞれ整理しました。

表 2-2-15 建物基本情報と評価のまとめ (学校施設①)

建物基本情報							構造躯体の健全性					劣化状況評価								
施設名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	耐震安全性			長寿命化判定		調査年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
							基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)									
幌別小学校 (体:H24耐震化済)	校	RC	2	4,394	1993	26	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	C	58		
	屋1	S	1	60	1993	26	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	D	82		
	屋2	S	1	1,442	1978	41	旧	済	済	-	-	長寿命	A	B	A	A	D	82		
幌別西小学校 (校:R1耐震化済)	校1	RC	2	594	1972	47	旧	済	済	H26	36.5	長寿命	C	A	C	C	B	62		
	校2	RC	2	342	1973	46	旧	済	済	H26	29.1	長寿命	C	A	C	C	B	62		
	校3	RC	1	40	1973	46	旧	済	済	H26	29.1	長寿命	C	A	C	C	B	62		
	校4	RC	3	2,050	1978	41	旧	済	済	H26	32.2	長寿命	A	A	C	C	B	67		
	校5	RC	3	1,480	1979	40	旧	済	済	H26	33.7	長寿命	A	A	C	C	B	67		
	校6	RC	3	996	1979	40	旧	済	済	H26	52.5	長寿命	A	A	C	C	B	67		
	校7	RC	2	630	1979	40	旧	済	済	H26	52.5	長寿命	A	A	C	C	B	67		
	校8	RC	1	56	1979	40	旧	済	済	H26	52.5	長寿命	A	A	C	C	B	67		
	校9	RC	1	145	2019	0	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
	屋1	S	1	12	1983	36	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84		
	屋2	S	1	1,063	1983	36	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84		
登別小学校 (R1耐震化済)	校1	RC	2	1,251	1969	50	旧	済	済	H25	25.6	長寿命	A	A	B	B	D	76		
	校2	RC	1	270	1971	48	旧	済	済	H25	25.6	長寿命	A	A	B	B	D	76		
	校3	RC	2	1,197	1971	48	旧	済	済	H25	25.6	長寿命	A	A	B	B	D	76		
	校4	RC	2	1,082	1976	43	旧	済	済	H25	39.9	長寿命	A	A	C	B	D	63		
	屋	S	1	902	1975	44	旧	済	済	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
鶯別小学校	校	RC	4	5,322	2016	3	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
	屋	RC	2	1,118	2014	5	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
富岸小学校 (校:H30耐震化済)	校1	RC	1	745	1977	42	旧	済	-	H24	38.1	長寿命	A	A	C	C	D	59		
	校2	RC	1	195	1977	42	旧	済	済	H24	42.4	長寿命	A	A	C	C	D	59		
	校3	RC	3	3,053	1977	42	旧	済	済	H24	42.4	長寿命	A	A	C	C	D	59		
	校4	RC	3	506	1985	34	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84		
	屋1	S	1	975	1977	42	旧	済	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100		
	屋2	RC	1	230	1977	42	旧	済	-	H24	42.4	長寿命	A	A	A	A	A	100		
	屋3	RC	1	37	1977	42	旧	済	-	H24	42.4	長寿命	A	A	A	A	A	100		

表 2-2-16 建物基本情報と評価のまとめ（学校施設②）

建物基本情報							構造躯体の健全性						劣化状況評価					
施設名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
							基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/cm <sup>2</sup> )	試算上の区分						
幌別東小学校 (R2耐震化済)	校1	RC	2	1,244	1969	50	旧	済	済	H26	22.8	長寿命	A	C	C	B	C	50
	校2	RC	1	303	1970	49	旧	済	済	H26	22.8	長寿命	A	C	C	B	C	50
	校3	RC	2	982	1970	49	旧	済	済	H26	22.8	長寿命	A	C	C	B	C	50
	屋1	S	1	29	1970	49	旧	済	済	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67
	屋2	S	1	1,042	1986	33	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67
若草小学校 (H14耐震化済)	校1	RC	1	288	1970	49	旧	済	済	H14	30.6	長寿命	C	A	A	A	A	95
	校2	RC	3	918	1977	42	旧	済	済	H14	30.6	長寿命	A	C	A	A	A	83
	校3	RC	2	1,069	1970	49	旧	済	済	H14	30.6	長寿命	A	A	A	A	A	100
	校4	RC	2	223	1974	45	旧	済	済	H14	30.6	長寿命	A	A	A	A	A	100
	校5	RC	2	338	1975	44	旧	済	済	H14	30.6	長寿命	A	A	A	A	A	100
	校6	RC	3	850	1982	37	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
	校7	RC	2	343	1970	49	旧	済	済	H14	30.6	長寿命	A	A	A	A	A	100
	校8	RC	2	729	1971	48	旧	済	済	H14	30.6	長寿命	A	A	A	A	A	100
	屋	S	1	1,176	1978	41	旧	済	済	-	-	長寿命	A	C	A	A	A	83
青葉小学校 (校:H27耐震化済) (体:H23耐震化済)	校1	RC	3	2,338	1976	43	旧	済	済	H22	21.9	長寿命	A	B	C	C	D	52
	校2	S	1	60	1976	43	旧	済	済	-	-	長寿命	A	B	C	C	D	52
	校3	RC	3	1,018	1976	43	旧	済	済	H22	21.9	長寿命	A	B	C	C	D	52
	屋1	S	1	1,017	1976	43	旧	済	済	-	-	長寿命	A	A	A	A	D	89
	屋2	S	1	11	1976	43	旧	済	済	-	-	長寿命	A	A	A	A	D	89
幌別中学校 (校:R2耐震化済)	校1	RC	2	870	1961	58	旧	済	済	H26	23.1	長寿命	A	A	C	A	B	75
	校2	RC	2	433	1964	55	旧	済	済	H26	23.1	長寿命	A	A	C	A	B	75
	校3	RC	2	434	1973	46	旧	済	済	H26	23.1	長寿命	A	A	C	A	B	75
	校4	RC	2	120	1976	43	旧	済	済	H26	35.9	長寿命	A	A	C	A	B	75
	校5	RC	2	48	1976	43	旧	済	済	H26	35.9	長寿命	A	A	C	A	B	75
	校6	RC	3	1,478	1975	44	旧	済	済	H26	29.5	長寿命	A	A	C	C	D	59
	校7	RC	3	615	1976	43	旧	済	済	H26	29.5	長寿命	A	A	C	C	D	59
	校8	RC	4	981	1976	43	旧	済	済	H26	29.5	長寿命	A	A	C	C	D	59
	校9	RC	3	72	1976	43	旧	済	済	H26	29.5	長寿命	A	A	C	C	D	59
	校10	RC	1	51	1975	44	旧	済	済	H27	40.1	長寿命	A	A	C	C	D	59
	屋	S	1	1,237	1995	24	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75

表 2-2-17 建物基本情報と評価のまとめ（学校施設③）

建物基本情報							構造躯体の健全性						劣化状況評価					
施設名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
							基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の区分						
鷺別中学校 (校:H26耐震化済) (体:H22耐震化済)	校1	RC	3	950	1962	57	旧	済	済	H21	28.7	長寿命	A	A	C	B	A	74
	校2	RC	3	1,260	1967	52	旧	済	済	H21	28.7	長寿命	A	A	C	B	A	74
	校3	RC	3	518	1968	51	旧	済	済	H21	28.7	長寿命	A	A	C	B	A	74
	校4	RC	3	333	1972	47	旧	済	済	H21	28.7	長寿命	A	A	C	B	A	74
	校5	S	1	60	1970	49	旧	済	済	-	-	長寿命	A	A	C	B	A	74
	校6	RC	3	613	1973	46	旧	済	済	H23	41.7	長寿命	A	A	C	D	B	63
	校7	RC	3	916	1976	43	旧	済	済	H23	22.3	長寿命	A	A	C	D	B	63
	校8	W	1	16	1989	30	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	C	D	B	63
	校9	RC	2	891	1979	40	旧	済	-	H23	56.3	長寿命	A	A	C	C	D	59
	屋	S	2	879	1970	49	旧	済	済	-	-	長寿命	A	A	A	B	B	94
登別中学校 (校:H29耐震化済) (体:H23耐震化済)	校1	RC	2	1,083	1963	56	旧	済	済	H25	36.2	長寿命	A	A	A	A	B	97
	校2	RC	2	288	1963	56	旧	済	済	H25	28.7	長寿命	A	A	A	A	A	100
	校3	RC	2	50	2017	2	旧	済	済	H25	40.9	長寿命	A	A	A	A	A	100
	校4	RC	1	308	1963	56	旧	済	済	H25	42.5	長寿命	A	A	A	A	B	97
	校5	RC	1	30	1963	56	旧	済	済	H25	35.0	長寿命	A	A	A	A	B	97
	校6	RC	2	72	1972	47	旧	済	済	H25	28.7	長寿命	A	B	A	A	C	86
	校7	RC	2	395	1972	47	旧	済	済	H25	33.3	長寿命	A	B	A	A	C	86
	校8	RC	3	594	1977	42	旧	済	済	H25	33.3	長寿命	A	B	A	A	C	86
	校9	RC	2	338	1984	35	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	C	86
	屋	S	1	1,110	1977	42	旧	済	済	-	-	長寿命	A	A	A	A	B	97
西陵中学校 (校:H11耐震化済) (体:H24耐震化済)	校1	RC	4	2,172	1973	46	旧	済	済	H9	29.2	長寿命	D	C	C	A	A	53
	校2	RC	4	619	1978	41	旧	済	済	H9	29.2	長寿命	D	C	C	A	A	53
	校3	RC	4	1,782	1974	45	旧	済	済	H9	29.2	長寿命	D	C	C	A	A	53
	校4	RC	4	253	1980	39	旧	済	済	H9	29.2	長寿命	D	C	C	A	A	53
	校5	S	1	65	1977	42	旧	済	済	H9	29.2	長寿命	D	C	C	A	A	53
	屋1	S	2	850	1974	45	旧	済	済	-	-	長寿命	A	A	A	B	B	94
	屋2	S	1	276	1976	43	旧	済	済	-	-	長寿命	A	A	A	B	B	94
緑陽中学校	校	RC	4	4,632	1982	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	D	B	B	B	53
	屋1	S	1	15	1982	37	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	C	B	B	38
	屋2	S	1	1,000	1982	37	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	C	B	B	38
	屋3	S	1	12	1982	37	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	C	B	B	38

表 2-2-18 建物基本情報と評価のまとめ（社会教育施設）

建物基本情報						構造躯体の健全性						劣化状況評価					
施設名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
						基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の区分						
市民会館	RC	2	4,686	1983	36	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	82
郷土資料館	RC	2	518	1980	39	旧	-	-	R2	39.0	長寿命	B	B	B	B	B	75
文化伝承館	RC	1	157	1995	24	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
総合体育館 (H27耐震化済)	RC	3	2,817	1974	45	旧	済	済	H24	29.9	長寿命	A	A	B	A	B	88
市民プール	RC	2	3,500	2004	15	新	-	-	-	-	長寿命	D	B	B	A	A	76
ネイチャーセンター	RC	1	973	2002	17	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	A	A	A	88

### 第3章 教育施設長寿命化の基本的な考え方

#### 1 教育施設長寿命化の基本方針

本編の対象となる教育施設の整備に向けては、上位計画である「総合管理計画」における8つの基本的な考え方を踏まえながら、教育施設の長寿命化の基本方針を設定するものとします。教育施設長寿命化の基本方針を表2-3-1に示します。

表 2-3-1 教育施設長寿命化の基本方針

<p><b>登別市公共施設等総合管理計画の基本的な考え方</b></p>	<p>(1) 定期的な点検・診断等の実施                  (2) 維持管理・修繕・更新等の実施                  (3) 耐震化の推進及び安全性の確保                  (4) 長寿命化の推進                  (5) ユニバーサルデザイン化の推進                  (6) 省エネルギー対策・再生可能エネルギー導入の推進                  (7) 統廃合及び複合化の推進                  (8) 全庁的な推進体制の構築</p>
<p><b>登別市教育施設個別施設計画における長寿命化の基本方針</b></p>	<p><b>(1) 定期的な点検・診断等の実施</b>                  予防保全の視点に立った維持管理に努めます。                  また、日常点検や法定点検等を通じて劣化状況を把握し、安全性の確保や事故防止に努めます。</p> <p><b>(2) 維持管理・修繕・更新等の実施</b>                  教育施設の日常点検や法定点検等の結果を踏まえ、修繕や更新が必要と判断される施設への適切な改修による対応を図ります。                  また、設備の省エネルギー化等による維持管理経費の縮減を目指します。</p> <p><b>(3) 耐震化の推進及び安全性の確保</b>                  教育施設の構造躯体の健全性の確保及び、児童生徒や利用者の安全確保に向け、計画的に構造躯体や非構造部材の耐震化を図り、安全・安心な施設整備に努めます。                  また、避難所に指定されている施設は、災害拠点施設としての機能確保に努めます。</p> <p><b>(4) 長寿命化の推進</b>                  教育施設の改修においては、重要度や優先度を明確にしたうえで、計画的な予防保全を推進することによる施設の長寿命化を図ります。                  また、長寿命化により、ライフサイクルコストの縮減及び平準化を目指します。</p> <p><b>(5) ユニバーサルデザイン化の推進</b>                  教育施設の整備・改修等においては、利用者の性別や年齢、国籍、障がいの有無にかかわらず、誰もが利用しやすい施設づくりに努め、ユニバーサルデザイン化を図ります。</p> <p><b>(6) 省エネルギー対策・再生可能エネルギー導入の推進</b>                  教育施設等の整備・改修に合わせ、国が推進する2050年カーボンニュートラルの実現や地域脱炭素の促進に向けた取組として、省エネルギー及び省CO<sub>2</sub>型の施設や設備の導入を推進するとともに、再生可能エネルギーの導入を推進します。</p> <p><b>(7) 統廃合等の推進</b>                  本編の対象とする教育施設は長寿命化を図っていくこととし、現在の施設維持に努めます。                  なお、学校施設の統廃合については、「登別市学校適正配置基本方針」等をもとに本計画とは別に検討を進めます。</p> <p><b>(8) 計画の実現に向けた連携の推進</b>                  教育施設の管理・運営にあたっては、予防保全の視点から計画的な維持管理を実施します。                  また、施設ごとの維持管理や整備等を行うにあたっては、他部局等との連携を図りながら進めます。</p>

## 2 改修等に係る基本的な考え方

### ■ 長寿命化の方針

中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するため、適切な時期に大規模改造や長寿命化改修を実施することを前提とします。

目標耐用年数については、「学校施設の長寿命化改修の手引（平成 26 年 1 月、文部科学省）」で参照している「建築物の耐久計画に関する考え方（昭和 63 年、社団法人日本建築学会）」に基づき、すべての建築物について 80 年と設定します。ただし、建築後 40 年程度が経過した施設等、目標耐用年数までの期間が少なく老朽化が著しい建物については、長寿命化を行うことにより財政への負担が増加する可能性があることから、その時の財政状況や費用対効果を検証しながら、長寿命化改修の実施判断や必要な対策を講じていきます。

### ■ 予防保全の方針

教育施設の維持管理にあたっては、老朽化による劣化・破損等の大規模な不具合が生じた後に修繕等を行う事後保全型の管理ではなく、施設をできるだけ長く使用するために、損傷が軽微である早期の段階から予防的な修繕等を実施することにより、機能・性能の保持・回復を図る予防保全型の管理に努めます。

予防保全型の管理を行うことで、突発的な故障や不具合の発生を減少させることが可能となり、これらの被害によるリスクを緩和することや、施設の改修・日常的な維持管理にかかる費用を平準化することにより、中長期的なトータルコストの縮減を図ります。

### ■ 目標耐用年数、改修周期の設定

本市の教育施設においては、上記の長寿命化の方針に従い、長寿命化改修の実施が適当と判断される施設については、建築後 80 年まで使用することを目標に、大規模改造を建築後 20 年と 60 年、長寿命化改修を建築後 40 年で実施していくことを基本とします。

また、長寿命化改修を実施しない施設においても、現状のまま日常的な修繕や大規模改造のみの対応とし、できるだけ長く使用することを目標とします。

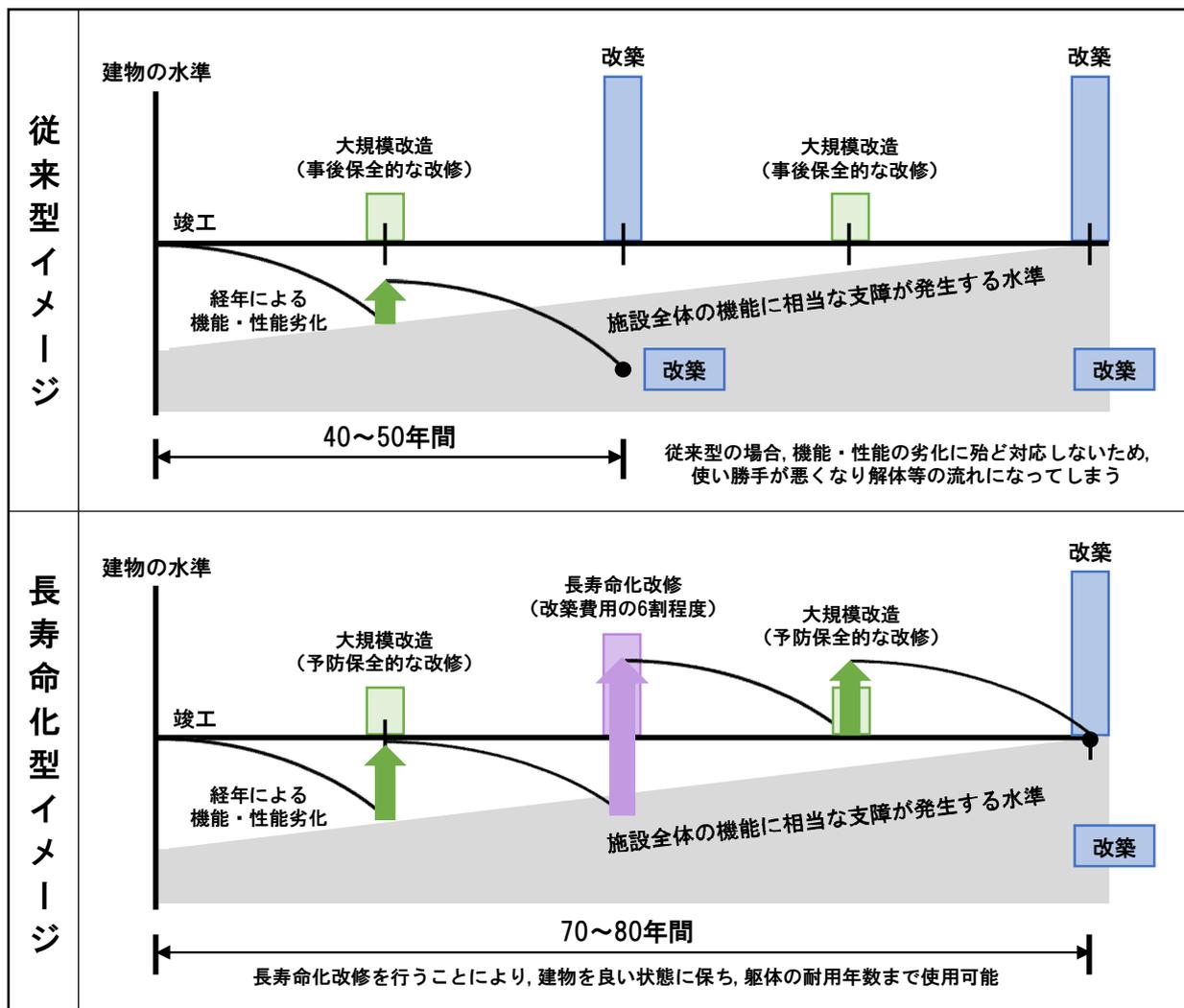


図 2-3-1 長寿命化の方針イメージ

### 3 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

#### (1) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

適切な時期に大規模改造や長寿命化改修を実施することを前提に、すべての建築物の目標耐用年数を80年とした長寿命化改修を含む管理を行った場合における今後40年間のコストを試算します。

#### ■ 試算条件

従来型の場合と同様に、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）」の試算方法に基づき、次の各条件で設定しています。

なお、長寿命化改修単価の設定における改築単価に対する割合については、対象施設の改修工事履歴等に応じてそれぞれ設定しています（表2-3-2参照）。

表 2-3-2 対象施設の試算条件（長寿命化型）

基準年度			
試算期間		基準年（2019）の翌年度から40年間	
施設整備費			
改築（既存の建物を建て替える工事）			
更新周期		80年（長寿命化）	
改築単価		330,000円/㎡（学校施設） 360,000円/㎡（スポーツ施設） 400,000円/㎡（文化施設・博物館等）	
工事期間		3年	
長寿命化改修（既存の建物の原状回復のみでなく従来型よりも機能を向上させる改修工事）			
実施年数		40年	
長寿命化改修単価 （改築単価に対する割合）	60.0%	改修工事 未実施	198,000円/㎡（学校施設） 216,000円/㎡（スポーツ施設） 240,000円/㎡（文化施設・博物館等）
	37.7%	改修工事 実施済	124,410円/㎡（学校施設） 135,720円/㎡（スポーツ施設） 150,800円/㎡（文化施設・博物館等）
工事期間		2年	
大規模改造（既存の建物の劣化による損傷や機能低下を回復させる改修工事）			
実施年数		20年周期（20年、60年）	
大規模改造単価 （改築単価に対する割合）	25.0%	82,500円/㎡（学校施設） 90,000円/㎡（スポーツ施設） 100,000円/㎡（文化施設・博物館等）	
	22.0%	72,600円/㎡（学校施設：屋内運動場）	
工事期間		1年	
部位修繕（劣化状況調査にてC、D評価となった部位に対する修繕工事）			
実施年数より古い建物の改修を10年以内実施（D評価は5年以内）			
その他施設整備費、維持修繕費、光熱水費・委託費			
過去5年間（H26～H30）の経費の平均を想定			

※改築単価は「総合管理計画」の「公共施設」における試算で用いた単価を使用しています。

※工事期間は、単年度に費用負担を集中させないために行う設定であり、実際の工事期間を表すものではありません。

## ■ 長寿命化改修の改修単価設定の考え方

本市における教育施設については、これまでに「屋根・屋上」及び「外壁」の改修を実施することによる施設の安全性確保に努めてきました。今後の維持・更新コストを考慮するうえでは、より現実的かつ計画的な改修スケジュールのもとで予算の平準化を図るため、長寿命化型の試算条件としてこれら「屋根・屋上」や「外壁」の改修にかかる工事が実施済あるいは予定される教育施設に対しては、該当部分の項目に対するコスト配分を控除して算定するものとします。

表 2-3-3、表 2-3-4 にコスト配分控除の考え方と対象となる教育施設について示します。

表 2-3-3 教育施設の各部位のコスト配分の考え方

部 位	コスト配分		コスト配分 (控除後)
屋根・屋上	5.1	→	0
外 壁	17.2	→	0
内部仕上げ	22.4	→	22.4
電気設備	8.0	→	8.0
機械設備	7.3	→	7.3
	60		37.7

※コスト配分は「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（H29.3、文科省）」を参照（本計画書 24 ページの図 2-2-10 より）

表 2-3-4 教育施設の長寿命化改修単価の設定

長寿命化改修単価の設定における改築単価に対する割合	対象となる教育施設
60%	改修工事が未実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幌別東小学校（屋内運動場）</li> <li>・ 鷺別小学校</li> <li>・ 緑陽中学校</li> <li>・ 市民プール</li> <li>・ 郷土資料館</li> <li>・ 文化伝承館</li> <li>・ ネイチャーセンター</li> </ul>
37.7%	改修工事が実施済み <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記以外の小中学校（校舎、屋内運動場）</li> <li>・ 上記以外の社会教育施設（市民会館、総合体育館）</li> <li>・ その他教育施設（新生町教職員住宅 K55）</li> </ul>

## (2) 長寿命化の効果

### <検証>

#### ■ 学校施設

学校施設の長寿命化を図る場合における今後の維持・更新コストを試算したところ、40年間の総額は約360億円となり、従来型の管理を行った場合におけるコストより、約15億円の縮減が見込まれ、年平均あたりで約0.4億円の縮減が可能となります。

1年あたりの平均経費は約9.0億円であり、過去の施設関連経費の年平均8.2億円の約1.10倍となります。直近10年間における長寿命化改修を主とする費用が年平均で7.7億円であり、従来型の直近10年間の19.0億円と比較すると約59.5%の縮減となります(図2-2-7、図2-3-2参照)。

#### ■ 社会教育施設

社会教育施設の長寿命化を図る場合における今後の維持・更新コストを試算したところ、40年間の総額は約129億円となり、従来型の管理を行った場合におけるコストより、約24億円の縮減が見込まれ、年平均あたりで約0.6億円の縮減が可能となります。

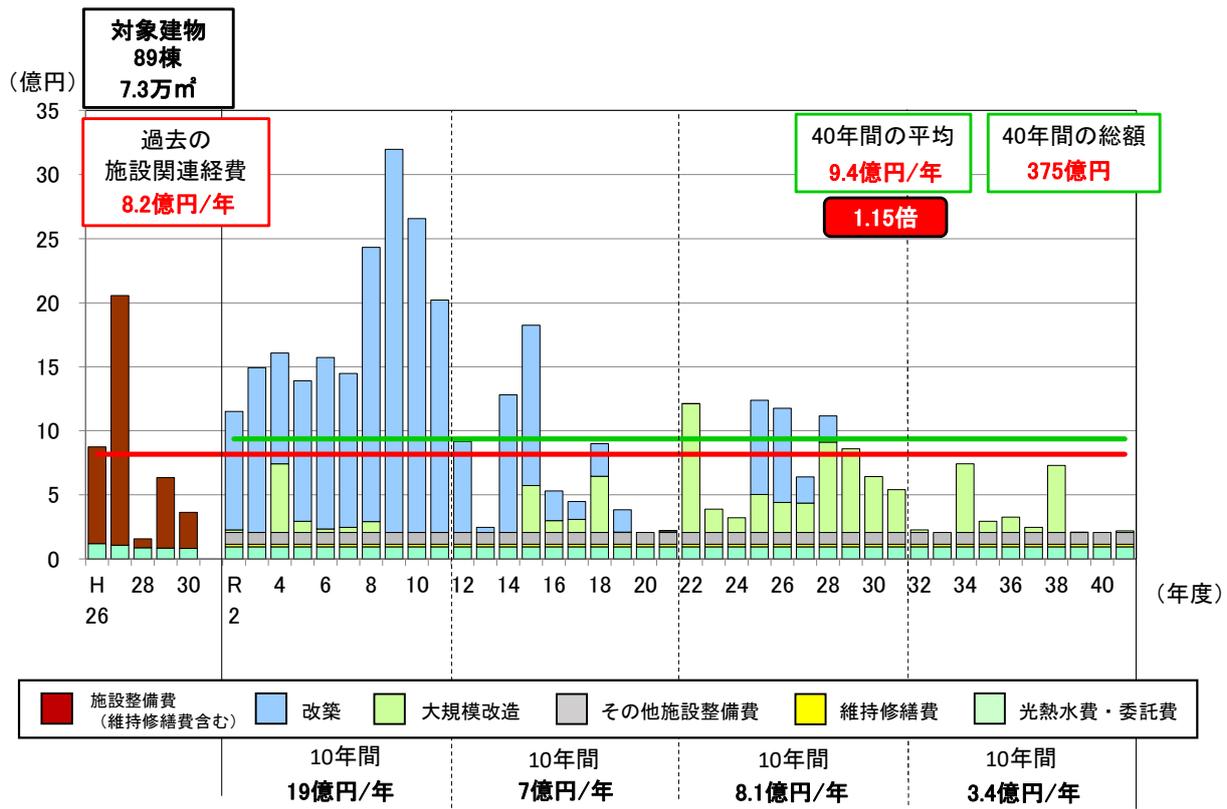
1年あたりの平均経費は約3.2億円であり、過去の施設関連経費の年平均2.5億円の約1.3倍となります。直近10年間における長寿命化改修を主とする費用が年平均で3.6億円であり、従来型の直近10年間の4億円と比較すると約10%の縮減となります(図2-2-8、図2-3-3参照)。

### <今後の方向性>

#### ■ 効果のまとめ

検証結果より、段階的に長寿命化改修を進めていくことで、今後の維持・更新コストの縮減と平準化を図ることが可能となることから、教育施設は、改築を前提とする従来型から長寿命化型に移行していくことが適切と考えます。

■ 学校施設の更新コスト比較



【再掲】 図 2-2-7 学校施設の今後の維持・更新コスト（従来型）

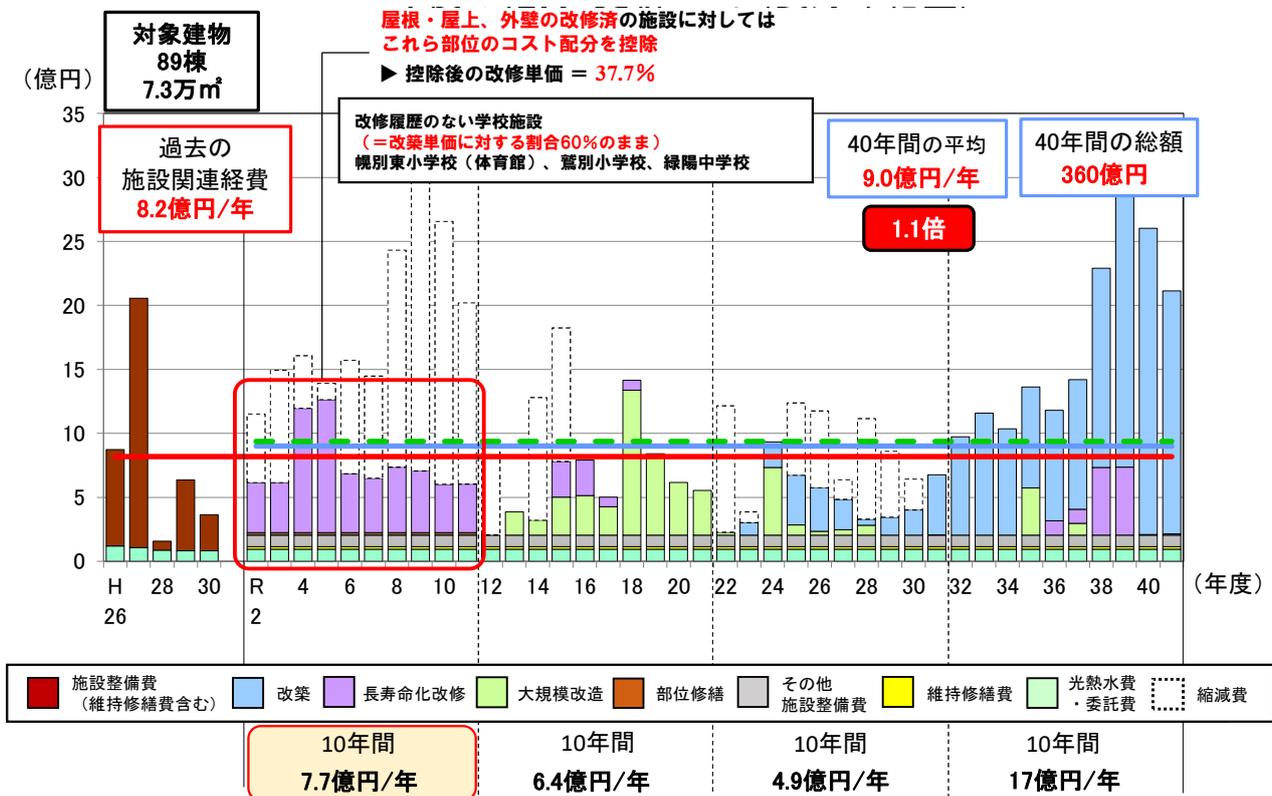
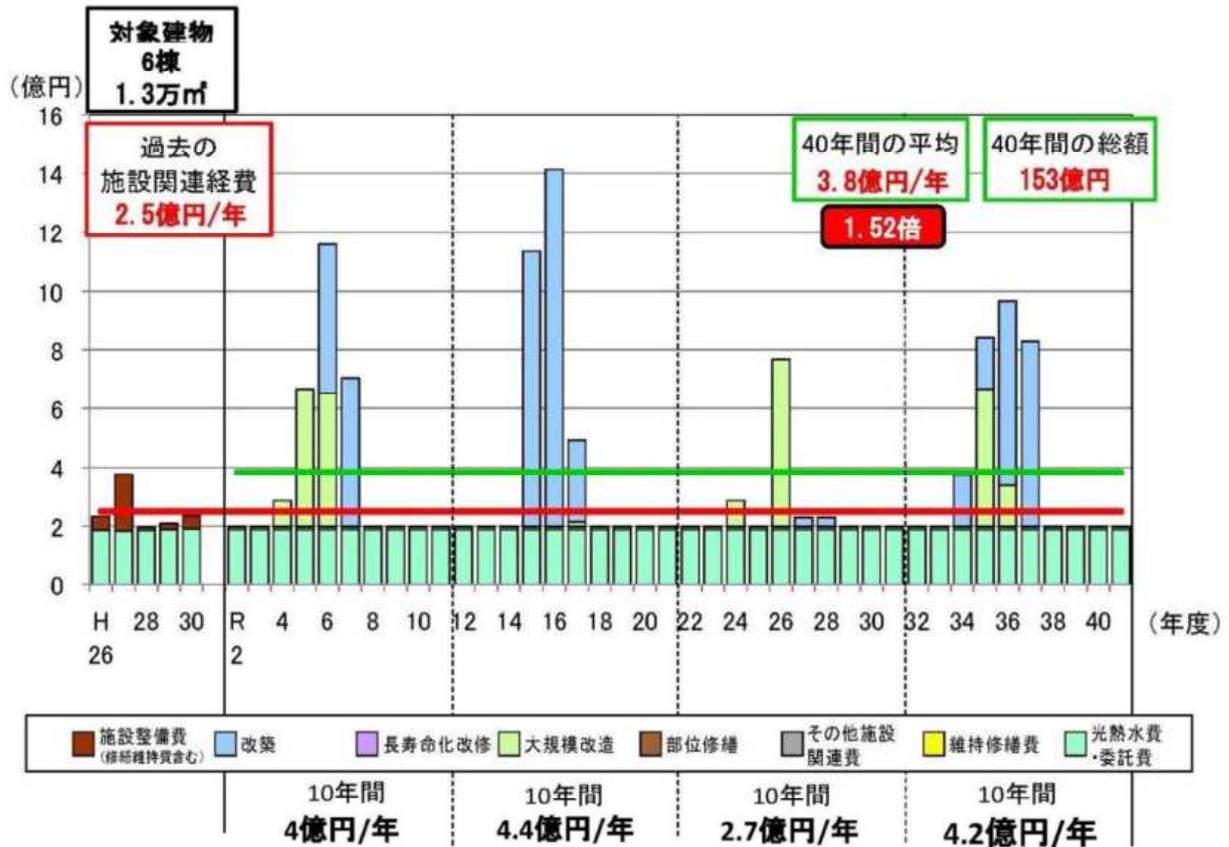


図 2-3-2 学校施設の今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

■ 社会教育施設の更新コスト比較



【再掲】図 2-2-8 社会教育施設の今後の維持・更新コスト（従来型）

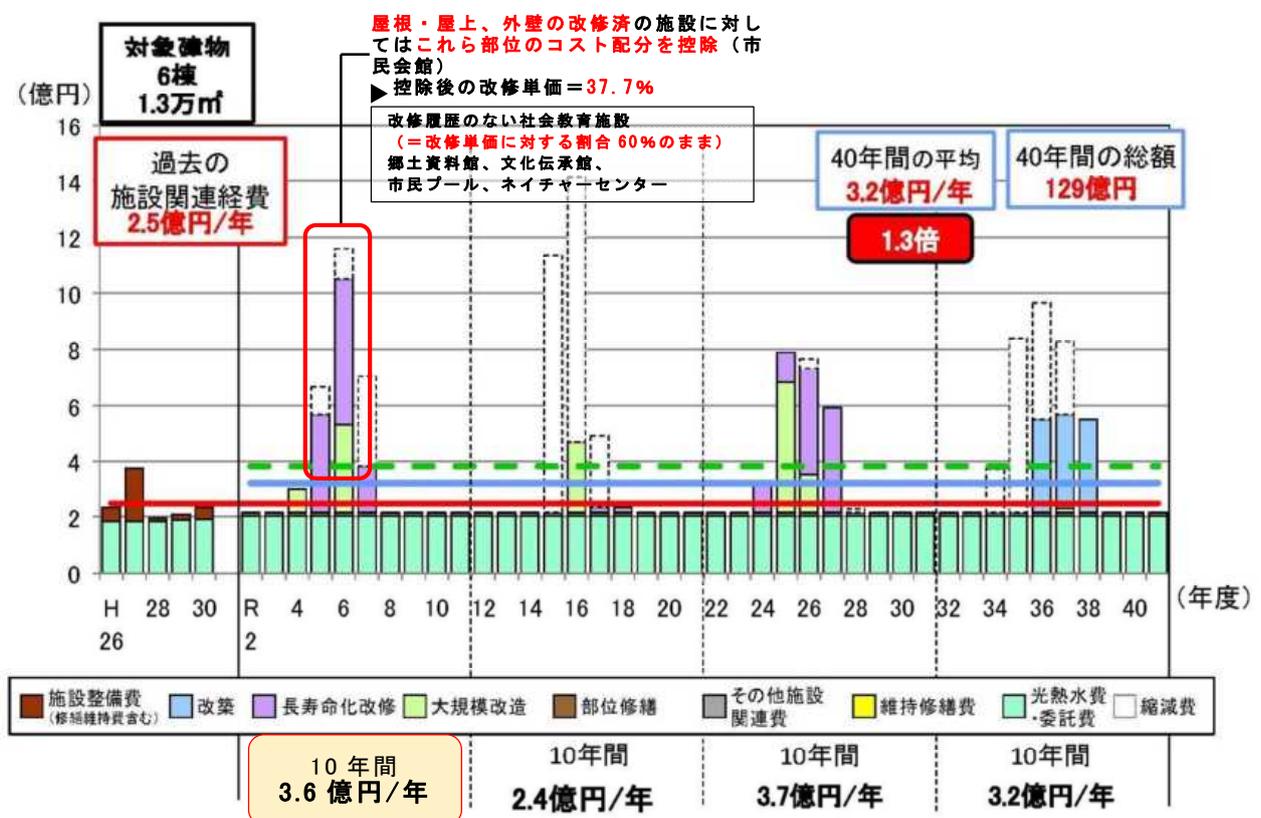


図 2-3-3 社会教育施設の今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

## 4 施設整備の内容

### (1) 改修等の整備水準

本市では、教育施設長寿命化の基本方針に示したとおり、施設の安全性の確保及び財政負担の軽減・平準化の観点から、適切な時期に長寿命化改修を実施し、目標耐用年数を概ね80年とした施設の長寿命化を図ります。

長寿命化改修では、単に物理的な不具合に対する修繕のみを行うのではなく、ライフラインの更新等により建物の耐久性を向上させるとともに、建物の機能及び性能を現在の学校施設が要求する水準まで引き上げることを目指します。

各項目の整備水準は①～⑨のとおりです。また、近年整備された鷺別小学校の仕様を参考にして、学校施設の校舎の整備レベルを表2-3-5に示します。

#### ① 屋上防水・屋根仕上げ

屋上防水は、既存の劣化状況に応じて更新し、耐久性に優れた材料及び工法を選択します。

屋根仕上げについては、老朽化が著しい場合においては撤去・更新し、防水同様に耐久性に優れた材料及び工法を選択します。老朽度が軽微な場合においては、再使用を検討します。

#### ② 外部仕上げ・外部建具改修

外壁のクラックや欠損等は補修を行います。仕上げ材は耐久性に優れた材料及び工法を選択します。外部建具周りのシーリングは、状況に応じて撤去更新します。

#### ③ 内装改修

仕上げ材は、揮発性有機化合物を含む材料を避け、原則 JIS 規格による F☆☆☆☆のものを使用するとともに、耐久性に優れた材料で環境に配慮した材料を選択します。

また、できるだけ木質化を図り、豊かな教育環境の形成に努めます。

#### ④ トイレ改修

トイレはドライ化を進めます。便器は洋式便器に更新します。多目的トイレの導入を検討し、バリアフリー化を図ります。

#### ⑤ 電気設備改修

ランニングコストを考慮して、省エネルギー効果の高い機器を選定します。改修する照明器具は LED 照明とし、消費電力の低減を図ります。

また、電気設備の保守点検結果に基づき、受変電設備関係の更新を行います。

## ⑥ 機械設備改修

ランニングコストを考慮して、省エネルギー効果の高い機器を選定します。ボイラーや受水槽・給排水配管は、適切な周期のもとで配管内調査等を行い、劣化が進んでいる場合においては、撤去・更新します。

また、受水槽・消火設備・エレベーター等は保守点検結果に基づき、補修又は更新を行います。

## ⑦ 防災・防犯対策

地震等の災害対策に対する耐震改修による耐震性の確保をはじめ、天井などの内外装材や設備機器などへの非構造部材の安全対策や、安全性に問題のある老朽化した部材の改修を行います。施設や設備面における防犯対策については、視認性の確保や侵入者などの制御に配慮します。

## ⑧ バリアフリー改修

バリアフリー改修の際には、通路や昇降口等の十分な幅やスペースを確保するほか、床面を滑りにくい仕上げとし、段差の解消を行います。

また、階段やスロープについては、認識が容易となるように色や材質を使い分けることで、児童生徒や利用者などの安全かつ円滑な施設利用に向けた整備に努めます。

## ⑨ ICT 環境整備の推進

授業の調べ学習や協働学習、実験や発表、日常的な事務等において使用するコンピューターやインターネット環境、その他これらに関連する周辺機器・設備等の ICT 環境整備に努めます。

表 2-3-5 改修等の整備レベル（学校施設 校舎）

部 位	改築（個別小レベル）	長寿命化改修	大規模改造	部位修繕	現状の整備レベル
		高			低
屋根・屋上	シート防水	ガルバリウム鋼板 葺替え 超耐久シート防水 やり替え	ガルバリウム鋼板 葺替え シート防水 やり替え	劣化部分修繕	長尺カラー鋼板 シート防水
外 壁	鋼板サイディング レンガタイル	防水型複層仕上塗材 塗り替え	複層仕上塗材 再塗装	劣化部分修繕	複層仕上塗材
外部開口部	アルミサッシ （複層ガラス）	断熱サッシに交換 （複層ガラス）	—	破損部交換	アルミサッシ （単板ガラス）
内 装 （教室等）	床：70-リグ・ビニルシート 壁：合板+塗装・クロス 天井：化粧石膏ボード	全面更新 （木質化）	床：70-リグ 塗装 ・ビニルシート張替 壁：再塗装	劣化部分修繕	床：70-リグ・ビニルシート 壁：塗装・化粧石膏ボード 天井：化粧石膏ボード
内 装 （便 所）	床：ビニルシート（乾式） 壁：合板+塗装 天井：化粧石膏ボード	床：ビニルシート（乾式） 壁：化粧けい酸加珪酸板 天井：化粧けい酸加珪酸板	壁：再塗装	劣化部分修繕	床：タイル（湿式床） 壁：タイル 天井：化粧石膏ボード
便 器	洋式 多目的トイレ 節水仕様	多目的トイレ整備 節水仕様	洋式化	劣化部分修繕	洋式・和式
照明器具等	LED・蛍光灯	LEDへ更新	—	蛍光灯交換	蛍光灯
受変電設備	キュービクル更新 非常用発電設備 太陽光発電設備	キュービクルの更新	—	劣化部分修繕	キュービクル
給排水設備	ステンレス管 塩ビ管	ステンレス管へ更新 塩ビ管の更新	—	劣化部分修繕	鋼管 塩ビ管
空調設備	個別暖房 熱交換換気システム 冷房（一部）	集中暖房の更新 熱交換換気システムへ更新 冷房設置	—	劣化部分修繕	集中暖房 局所換気
防災・防犯	備蓄庫 防犯カメラ	—	—	劣化部分修繕	—
バリアフリー	バリアフリー エレベーター	バリアフリー化 階段昇降機等	—	利用者に応じてバリアフリー化	

## (2) 維持管理の項目・手法等

教育施設長寿命化の基本方針に示したとおり、長寿命化を図るためには、定期的な改修工事を行うのみにとどまらず、日常点検や法定点検、清掃や情報管理等を行う必要があります。

維持管理の項目・手法を整理することで、建物の劣化状況を効率的に把握し、異常等に対して迅速に対応することが可能となります。

すべての教育施設を対象とし、日常点検を年に一度程度、目視により実施します。

また、法定点検対象施設は引き続き法令に基づく点検を実施し、法定点検対象外の施設については、本計画の劣化状況調査を実施します。各教育施設の点検実施周期は、法定点検については法定どおりに実施し、法定点検以外については概ね5年ごととします。

各教育施設の維持管理を効率的かつ効果的に実施するため、建物の基本情報及び図面並びに工事履歴等について、教育施設ごとに情報を整理します。劣化状況調査票を作成するための現地調査の際は、建物の劣化状況と併せて写真により記録します。

また、将来的な機能移転や廃止などが見込まれる教育施設については、定期的に状況を把握し、データを蓄積することにより、取り壊し等の時期を判断していくこととします。

なお、突発的な故障や不具合の発生時は緊急点検を実施し、対応を検討することとします。

## 第4章 教育施設整備の進め方

### 1 改修等の優先順位づけ

今後40年間の計画は、長寿命化を実施した場合による維持・更新コストの平準化に努めます。劣化等が著しく顕在している建物については、財政状況等を考慮したうえで、建物の健全性を回復するための長寿命化改修や大規模改造、部位修繕を行うことにより、施設や教育環境の改善及び社会的ニーズへの対応を行います。

さらに、今回の劣化状況調査にてC、D評価となった施設への対応を含め、本計画期間内において優先すべき改修内容と考えられる事業について進めていくものとします。

表2-4-1 教育施設の事業プログラムの概要と対象施設

学 校 施 設	長寿命化改修
	緑陽中学校（校舎・屋内運動場）
	大規模改造
	幌別東小学校（校舎）、幌別中学校（校舎）における耐震改修等工事（D評価への対応） 西陵中学校（校舎）、幌別小学校（校舎）、幌別東小学校（校舎）、若草小学校（校舎、 屋内運動場）、鷺別中学校（校舎）
	部位修繕（C評価、D評価への対応）
	小学校におけるバスケットゴール改修，床改修，照明器具のLED化改修，給水設備改修を実施 中学校におけるバスケットゴール改修，照明器具のLED化改修，キュービクル更新，ボイラー更新 を実施 煙突内のカボスタック除去 （※機械設備については，経過年数によるD評価であり，これまでに修繕履歴があることから事業 プログラムの内容を優先）
社 会 教 育 施 設	長寿命化改修
	市民会館
	大規模改造
	ネイチャーセンター、市民プール、郷土資料館、文化伝承館
	部位修繕（C評価、D評価への対応）
	電気設備改修，空調系設備改修，給油設備改修，照明器具のLED化改修，集会施設におけ る機材等改修の実施、煙突内のカボスタック除去

表 2-4-2 教育施設の改修項目に対する内容及び周期

改修項目	改修内容	改修周期
長寿命化改修	既存の建物の原状回復のみでなく 従来型よりも機能を向上させる改修工事	建築後 40 年で実施
大規模改造	既存の建物の劣化による損傷や機能低下を 回復させる予防的な改修工事	建築後 20、60 年で実施
部位修繕	屋根・屋上	屋根・屋上の防水改修
	外壁	外壁の改修
	内部仕上げ	便所の洋式化 床改修 照明器具の LED 化（省エネ化） 屋内運動場のバスケットゴール等の改修 舞台幕の改修（市民会館） 空調設備の改修 換気設備の改修 冷暖房設備の改修 煙突内断熱材の除去
	電気設備	照明負荷設備の更新 火災報知器・非常放送設備の更新 キュービクル（高圧受電設備）の更新
	機械設備	給水設備の改修 給油設備の改修 ボイラーの更新 濾過器の改修 消火栓ポンプの更新 地下タンクの改修
		<p>■ C、D 評価の項目に対して実施</p> <p>・C 評価は 10 年以内に実施</p> <p>・D 評価は 5 年以内に実施</p> <p>■ 耐用年数を超過している設備に対しては 10 年以内に順次更新を実施</p>

## 2 優先順位等を考慮した今後の実施計画

今後 10 年間の事業プログラムについては、前節の優先順位づけの考え方にに基づき、学校施設は表 2-4-3 に示すとおり、社会教育施設は表 2-4-4 に示すとおりとします。

表 2-4-3 今後 10 年間の事業プログラム（学校施設）

学校名	建物名	構造	階数	建設年度	築年数	大規模改造年度	事業手法	実施予定事業 (2020年(R2)～2029年(R11))	備考
幌別小学校	校	RC	2	1993	26	—	大規模改造	大規模改造（実施設計含む）	C 評価の屋根・屋上、外壁、機械設備を主とした改修
	屋	S	1	1978	41	H24	部位修繕	LED 改修（実施設計含む）、バスケットゴール改修	
	設備等						部位修繕	地下タンク改修	
幌別西小学校	校	RC	3	1972	47	—	部位修繕	煙突カポスタック除去	
	屋	S	1	1983	36	H25	部位修繕	LED 改修（実施設計含む）、バスケットゴール改修	
	設備等						維持保全		
登別小学校	校	RC	3	1969	50	R1	部位修繕	LED 改修（実施設計含む）	
	屋	S	1	1975	44	H24	部位修繕	LED 改修（実施設計含む）	
	設備等						維持保全		
鷺別小学校	校	RC	4	2016	3	—	維持保全		
	屋	RC	2	2014	5	—			
	設備等								
富岸小学校	校	RC	3	1977	42	—	部位修繕	LED 改修（実施設計含む）	
	屋	S, RC	1	1977	42	H24	部位修繕	バスケットゴール改修	
	設備等						部位修繕	校舎給水設備改修（実施設計含む）	
幌別東小学校	校	RC	2	1969	50	S62	大規模改造	大規模改造（耐震改修等、屋根）	耐震化及び屋根を主とした改修
	屋	S	1	1986	33	—	部位修繕	床改修、LED 改修（実施設計含む）、バスケットゴール改修	
	設備等						維持保全		
若草小学校	校	RC	3	1970	49	H15	大規模改造	大規模改造（屋根、外壁、煙突カポスタック）（実施設計含む）	C 評価の屋根・屋上、外壁を主とした改修
	屋	S	1	1979	40	H14	大規模改造	大規模改造（屋根、外壁、床）（実施設計含む）	C 評価の外壁を主とした改修
							部位修繕	床改修、バスケットゴール改修	
	設備等						維持保全		
青葉小学校	校	RC, S	3	1976	43	H28	部位修繕	煙突カポスタック除去	
	屋	S	1	1976	43	H23	部位修繕	LED 改修（実施設計含む）	
	設備等						維持保全		

幌別 中学校	校	RC	4	1961	58	S63	大規模改造	大規模改造（耐震改修、外壁・防水・屋根、便所洋式化）（実施設計含む）	耐震化及び便所洋式化D評価部位への対応
							部位修繕	煙突カポスタック除去	
	屋	S	1	1995	24	—	部位修繕	LED改修（実施設計含む）、バスケットゴール改修	
	設備等						部位修繕	ボイラー更新実施設計	
鷺別 中学校	校	RC,S,W	3	1962	57	H25	大規模改造	大規模改造（屋根）	屋根の改修（予防保全）
	屋	S	1	1970	49	H22	部位修繕	LED改修（実施設計含む）	
	設備等						部位修繕	キュービクルなどの電気設備	
登別 中学校	校	RC	3	1963	56	H28	部位修繕	LED改修（実施設計含む）	
	屋	S	1	1977	42	H23	部位修繕	LED改修（実施設計含む）	
	設備等						維持保全		
西陵 中学校	校	RC	4	1973	46	H12	大規模改造	大規模改造（屋根、外壁、カポスタック）（実施設計含む）	C評価の外壁、内部仕上げ（煙突）を主とした改修
							部位修繕	煙突カポスタック除去	
	屋	S	2	1974	45	H24	部位修繕	便所洋式化 LED改修（実施設計含む）、バスケットゴール改修	
	設備等						部位修繕	ボイラー更新（実施設計含む）	
緑陽 中学校	校	RC	4	1982	37	—	長寿命化改修	長寿命化改修 （煙突カポスタック除去、実施設計含む）	改修方針に基づく長寿命化改修 （築年数40年）
	屋	S	1	1982	37	—	長寿命化改修	長寿命化改修 （実施設計含む）	
	設備等						部位修繕	キュービクル更新、屋内運動場及び校舎設備改修	改修方針に基づく長寿命化改修 （築年数40年）

※整備計画の推進にあたっては、国庫補助金等の採択状況や財政状況に左右されるため、事業の実施が確約されるものではありません。

表 2-4-4 今後 10 年間の事業プログラム（社会教育施設）

施設名	建物名	構造	階数	建設年度	築年数	大規模改造年度	事業手法	実施予定事業（2020年（R2）～2029年（R11））	備考
市民会館	-	RC	2	1983	36	-	長寿命化改修	長寿命化改修（実施設計含む）	改修方針に基づく長寿命化改修（築年数 40 年）
							部位修繕	LED 改修（実施設計含む） 舞台幕改修、冷房設備改修 煙突カポスタック除去	
							設備等	照明負荷設備更新 火災報知器・非常放送設備更新 キュービクル更新 消火栓ポンプ更新 地下タンクライニング工事 床暖房自動制御機器更新	
郷土資料館	-	RC	2	1980	39	-	大規模改造	耐震化改修、大規模改造（屋根・屋上防水、外壁、内部仕上げ、LED 改修）（耐震診断、実施設計含む）	・耐震改修は耐震診断結果により実施の可否を検討。 ・収蔵資料の増加に伴う保管場所の検討
							設備等	部位修繕	
文化伝承館	-	RC	1	1995	24	-	大規模改造	LED 改修（実施設計含む）	
							設備等	部位修繕	
総合体育館	-	RC	3	1974	45	H27	部位修繕	煙突カポスタック除去	
							設備等	部位修繕	
市民プール	-	RC	2	2004	15	-	大規模改造	大規模改造（屋根防水改修）	D 評価の屋根・屋上に対する改修
							設備等	部位修繕	
ネイチャーセンター	-	RC	1	2002	17	-	大規模改造	大規模改造（実施設計含む）	C 評価の屋根・屋上を主とした改修
							部位修繕	LED 改修（実施設計含む）	
							設備等	部位修繕	

※整備計画の推進にあたっては、国庫補助金等の採択状況や財政状況に左右されるため、事業の実施が確約されるものではありません。

### 第3編 その他教育施設

#### 第1章 その他の教育施設の個別計画について

##### 1 対象施設

本編の対象は、第1編第1章5の施設のうち、長寿命化対象施設を除く次の施設とします。

表 3-1-1 対象施設一覧

分類	施設区分	建物名	施設数
学校施設	調理場	学校給食センター	1
社会教育施設	図書館	市立図書館	1
	博物館	のぼりべつ文化交流館	1
	スポーツ施設	登別市青少年会館、岡志別の森運動公園(管理棟等)	2
	青少年教育施設	ネイチャーセンター(旧棟)	1
その他	その他	新生町教職員住宅 K55	1
計			7

## 2 施設の状況

第3編第1章1の施設の状況は、表3-1-2に示します。

表3-1-2 施設の状況

<b>学校給食センター</b>			
住所	千歳町 3-1-3		
構造・階数	S造・2		
建築年度	S42(1967)		
延床面	767 m <sup>2</sup>		
耐震性能	無		
<b>市立図書館</b>			
住所	中央町 5-21-1		
構造・階数	RC造・3		
建築年度	S46(1971)		
延床面	1,025 m <sup>2</sup>		
耐震性能	無		
<b>のぼりべつ文化交流館</b>			
住所	登別温泉町 123		
構造・階数	RC造・3		
建築年度	S53(1978)		
延床面	2,563 m <sup>2</sup>		
耐震性能	無		
<b>登別市青少年会館</b>			
住所	中央町 5-21-12		
構造・階数	S造一部RC造・2		
建築年度	S43(1968)		
延床面	675 m <sup>2</sup>		
耐震性能	無		
<b>岡志別の森運動公園 (管理棟等)</b>			
住所	千歳町 97		
構造・階数	W造(管理棟)・1		
建築年度	H9(1997)		
延床面	360 m <sup>2</sup>		
耐震性能	有		
<b>ネイチャーセンター(旧棟)</b>			
住所	鉾山町 8-3		
構造・階数	CB造・1		
建築年度	S33(1958)		
延床面	590 m <sup>2</sup>		
耐震性能	無		

<b>新生町教職員住宅K55</b>		 
住 所	新生町 2-18-2	
構造・階数	RC 造・4	
建築年度	S55(1980)	
延床面	1,710 m <sup>2</sup>	
耐震性能	有	

### 3 施設ごとの方針

本編の対象施設は、基本的に長寿命化は行わず、既存施設をできるだけ長く使用することを主眼とし、必要に応じた個別の修繕対応とします。

また、老朽化等により、大規模修繕を講じなければ施設としての維持ができない場合には、統合や廃止、改築などの検討を行うこととします。

表 3-1-3 施設ごとの方針

施設名	<b>学校給食センター</b>
方針	学校給食センターは老朽化が著しく、旧耐震基準の建物であり、建物・設備ともに抜本的な対策が必要な状況です。「登別市学校給食センター整備計画」（平成31年3月策定）では、「現施設の大規模改修は、工事期間が短く、困難であること、また、増改築は法的に不可能なため、必要最低限の施設維持に努められるよう改修工事を行う」としていることから、維持補修により対応することとしますが、将来的な施設整備に向けて、近隣市町との広域運営も含め、今後のあり方の検討を行います。
施設名	<b>市立図書館</b>
方針	市立図書館は老朽化等により、長期的な使用は難しい状況であることから、基本的には維持補修により対応することとします。「総合管理計画」では、本施設について「将来的に隣接する青少年会館の施設を廃止する際に、その土地を利用して施設の増改築を検討する」としてありますが、本施設が維持できなくなった場合には、新築のほか、既存施設への機能移転、複合的な施設の建設も含めて今後のあり方の検討を行います。
施設名	<b>のぼりべつ文化交流館</b>
方針	のぼりべつ文化交流館は、老朽化等により、長期的な使用は難しい状況であることから、維持補修により対応することとします。また、郷土資料館の耐震化の状況を踏まえ、あわせて検討する大規模改造、収蔵庫の増築などの実施時期を考慮し、郷土資料館に統合することを検討します。

施設名	<b>登別市青少年会館</b>
方針	登別市青少年会館は老朽化等により、長期的な使用は難しい状況であることから、維持補修により対応することとします。施設として維持ができなくなった場合には、施設の統廃合や他の施設への機能移転を検討します。
施設名	<b>岡志別の森運動公園（管理棟等）</b>
方針	岡志別の森運動公園は、登別市公園施設長寿命化計画の対象公園となっていることから、当該長寿命化計画との連携を図りながら、維持補修により対応します。
施設名	<b>ネイチャーセンター（旧棟）</b>
方針	ネイチャーセンター（旧棟）は、老朽化の状況を踏まえ、維持補修により対応することとしますが、新耐震基準で建設している新棟と一体的に活用している実態を踏まえ、活用のあり方を検討します。
施設名	<b>新生町教職員住宅K55</b>
方針	新生町教職員住宅K55は耐震性は確保されているほか、屋根、外壁の改修は行われています。建物の内部や設備等の更新は行われていない状態ではありますが入居者がいる中での大規模な内部等の改修は難しいことから、個々の状況に応じた維持補修により対応します。

## 第4編 計画の実現に向けて

### 第1章 今後の計画推進

#### 1 情報基盤の整備と活用

本計画における教育施設の劣化状況調査、改修履歴、法定点検の結果等をデータベースとして蓄積し、今後の計画の見直し等に向けた基礎資料となることを踏まえて定期的に更新していくことが重要となります。

これらの情報を適切に管理し、施設の状況を把握することにより、今後の改修内容や時期について総合的に判断し、計画的な整備に活用していきます。

#### 2 フォローアップ

効率的・効果的な施設整備を進めていくためには、本計画に基づき適切な改修や維持管理を行うだけでなく、常に施設の現状を把握し、問題点を検証・改善するとともに、計画の進捗状況や目標達成状況を正確に把握するPDCAサイクルを確立し、的確にフォローアップを実施します。

また、計画の進捗状況のフォローアップの結果や社会情勢の変化等に応じて、計画の見直しを行います。



図 4-1-1 PDCA サイクル

(経過)

令和2年3月 「登別市教育施設長寿命化計画」策定

令和4年3月 「登別市教育施設等個別施設計画」策定(改訂)

〒059-0014  
登別市富士町7丁目33番地  
登別市教育委員会  
教育部 総務グループ

